

## 第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」 ～都市基盤整備の充実～

1. 個性が活きる、住み続けたいまちにします  
【都市計画】
2. 住環境が良好なまちにします  
【住宅】
3. 道路環境が充実した安全で快適なまちにします  
【道路】
4. 安定した水の供給を行います  
【上水道】
5. 生活環境の改善を推進するまちにします  
【下水道】
6. 花とみどりのまちにします  
【公園】
7. 公共交通機関が利用しやすいまちにします  
【公共交通】

～都市基盤整備の充実～

基本施策1 個性が生きる、住み続けたいまちにします

【会計】一般会計

施策1 計画的で均衡のあるまちづくりに努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 1目：都市計画総務費

事業名	730	都市計画調査研究事業		
担当所属		都市計画課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	地域の個性を活かした土地利用のあり方を継続的に調査研究し、都市計画区域を、市街化区域と市街化調整区域とに区分する「区域区分」、それぞれの地域にふさわしい土地利用を促進するために定める「用途地域」等の都市計画原案の検討・作成を行います。また、都市計画情報の提供を行うため、都市計画図の印刷を行います。
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市域の地形や土地利用の状況等を把握し、適切な都市計画の立案を図るための基礎資料とします。</li> <li>・調査結果に基づき地形図等を作成し、市民への都市計画の周知を図ります。</li> </ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な都市計画を立案することで、計画的で住みやすいまちづくりを推進します。</li> <li>・都市計画情報の提供を行い、周知を図ることで、円滑な土地利用を推進します。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	3,000	都市計画図印刷
平成24年度	2,970	都市計画図印刷
平成25年度	2,001	都市計画図印刷 都市計画 GIS システム保守点検
平成26年度	2,058	都市計画図印刷 都市計画 GIS システム保守点検
平成27年度	2,058	都市計画図印刷 都市計画 GIS システム保守点検
合計	12,087	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
都市計画図印刷枚数	1,000枚	1,000枚	1,000枚	1,000枚	1,000枚
用途地域の検討、協議を行った地区数	1地区	—	—	—	—
用途地域等の確認、相談に関する窓口対応	100%	100%	100%	100%	100%
用途地域が変更された地区数	1地区	—	—	—	—
計画的な土地利用が図られていると思う市民割合	20%	20%	20%	20%	20%

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策1 個性が活きる、住み続けたいまちにします

施策1 計画的で均衡のあるまちづくりに努めます

事業名	7586	都市計画推進事業		
担当所属	都市計画課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	都市計画に基づく円滑な土地利用の推進を図るため、土地利用等の現況及び動向の調査や都市計画情報の提供を行います。
事業の目的	土地利用の現況等、地域の実態に根差した都市計画の立案を通じて、計画的なまちづくりの実現を図ります。
事業の効果	計画的ですみやすいまちづくりを実現します。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	34,626	都市計画基礎調査、都市マスタープラン地域別構想策定
平成24年度	4,600	白図印刷60面*150枚、都市マスタープラン地域別構想策定
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度	43,000	基本図修正業務
合計	82,226	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
都市マスタープランに基づく事業の進捗調査	—	1回	1回	1回	1回
都市マスタープランの周知	1回	1回	1回	1回	1回
都市計画基本図等修正業務委託	1件	—	—	—	1件
白地図の印刷	-	1回	-	-	-
都市マスタープラン地域別構想地区説明会開催回数	4回	-	-	-	-
都市マスタープランの適正な管理及び運用	地域別構想策定作業	地域別構想策定完了	中間見直し準備	中間見直し準備	中間見直し作業
計画的な土地利用が図られていると思う市民割合	20%	20%	20%	20%	20%

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策1 個性が活きる、住み続けたいまちにします

施策1 計画的で均衡のあるまちづくりに努めます

事業名	10500	緊急雇用創出事業〔都市計画決定図書電子データ化事業〕		
担当所属	都市計画課	事業期間	平成25年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	都市計画決定図書等の電子データ化及びデータベース化を行います。
事業の目的	都市計画決定図書は紙ベースによる保存（原本のみ）となっており、劣化や破損が生じています。都市計画決定情報の照会等において、利用頻度も高いことから、保存性の向上とデータ利用における検索性の向上が必要となっています。
事業の効果	都市計画決定図書を電子化することにより、保存性を向上させるとともに、データ管理の適正化及びデータ検索による事務の適正化を図ることができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度		
平成24年度		
平成25年度	9,955	都市計画決定図書等の電子データ化及びデータベース化を行います。
平成26年度		
平成27年度		
合計	9,955	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
都市計画決定図書の電子化件数	—	—	14,500枚	—	—
新規雇用人数	—	—	4人	—	—



～都市基盤整備の充実～

基本施策1 個性が活きる、住み続けたいまちにします

【会計】一般会計

施策1 計画的で均衡のあるまちづくりに努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 1目：都市計画総務費

事業名	10514	市制施行 60 周年記念〔佐倉市の変遷展示事業〕		
担当所属		都市計画課	事業期間	平成 26 年度

【実施計画の概要】

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市制施行以降の航空写真等を中心としたパネルの作成及び展示を行います。</li> <li>・都市計画図等を展示することで、航空写真の土地利用状況等と比較できるものとします。</li> </ul>
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年代ごとの航空写真を比較展示することで、市制施行以降の土地利用等の変遷を分かりやすく伝えることができます。</li> <li>・都市計画図等と比較することで、都市計画と土地利用状況等との関連を伝えることができます。</li> </ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市制施行以降の市の変遷を伝えることにより、郷土への理解や関心を高めるきっかけとなります。</li> <li>・都市計画に係る施策と土地利用等の変遷との関連を伝えることで、都市計画行政への理解を深めることにつながります。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成 23 年度		
平成 24 年度		
平成 25 年度		
平成 26 年度	722	「佐倉市の変遷」パネル展示
平成 27 年度		
合計	722	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
展示パネル作成	—	—	—	1	—
パネル展示会場数	—	—	—	5	—

基盤整備の充実～

基本施策1 個性が活きる、住み続けたいまちにします

【会計】一般会計

施策2 地域の個性を活かした健全なまちづくりに努めます 2款：総務費 1項：総務管理費 14目：地域振興費

事業名	130	字区域設定事業		
担当所属		自治人権推進課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	土地区画整理事業による換地処分等に伴う町名の変更及び地番の整理を実施します。また、町名変更、地番整理に伴い、地域住民に対する住所変更手続き案内の実施や新町名地番が記載された街区表示板を設置します。
事業の目的	市民に分かりやすい住所の表示を行います。
事業の効果	土地区画整理事業による換地処分等に伴う町名変更及び地番整理を実施し、それに伴い地域住民に対する新住所への手続き案内の実施や街区表示板の設置により、わかりやすい居住環境が整備され、市民の利便性の向上が期待されます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	6,952	井野東土地区画整理事業の計画準備調査、街区・町名表示板作成など
平成24年度	3,103	井野南土地区画整理事業、寺崎土地区画整理事業の計画準備調査、街区・町名表示板作成など
平成25年度	7,948	寺崎土地区画整理事業による町名変更、地番整理に伴い、地域住民に新住所の手続き案内を実施や町名地番の表示が記載された街区表示板を設置し、わかりやすい住所表示に努めます。
平成26年度	6,464	寺崎土地区画整理事業による町名変更、地番整理に伴い、地域住民に新住所の手続き案内を実施や町名地番の表示が記載された街区表示板を設置し、わかりやすい住所表示に努めます。
平成27年度	0	
合計	24,467	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
住民説明会開催回数	1回	1回	1回	1回	
町名変更処理件数	1件	1件	0件	1件	
町名変更手続き案内送付枚数	300枚	50枚	200枚	300枚	
新町名への移行地区数	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	

～都市基盤整備の充実～

基本施策1 個性が活きる、住み続けたいまちにします

【会計】一般会計

施策2 地域の個性を活かした健全なまちづくりに努めます 7款：土木費3項：都市計画費1目：都市計画総務費

事業名	299	宅地開発指導事業		
担当所属	開発審査課	事業期間	昭和49年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無秩序な宅地開発による環境の破壊を防止し、健全な生活環境と秩序ある宅地開発の指導に努めます。</li> <li>・社会情勢の変化等に応じて「佐倉市開発行為等の規制に関する条例」「佐倉市開発事業の手続き及び基準に関する条例」の見直しを検討し実施します。</li> <li>・市街化調整区域の生活環境の保全を図るため、定期パトロールを実施し、違反宅地開発等の指導に努めます。</li> </ul>
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅地開発事業の実施にあたっては、良好な住環境を整備するとともに周辺住宅環境との調和を図ります。</li> <li>・開発許可基準等の見直しにより、生活環境の保全、地域の活性化など土地利用の観点から地域課題を解決し、市民ニーズに応えます。</li> <li>・市街化調整区域の違反建築物については、地域環境の保全、土地利用制限の公平性（法令遵守）等の観点から是正を図ります。</li> </ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秩序ある宅地開発の中で公共施設等が整備され、良好な都市環境の創出や保全を図る上で大きな役割を果たします。</li> <li>・開発許可基準の見直しにより、地域課題への対処や地域の活性化に寄与します。</li> <li>・事業者への指導や市の事務効率の向上を図ります。</li> <li>・市街化調整区域での違反建築の減少に努めることにより地域環境の保全が図られます。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	3,978	宅地開発指導事務の実施など
平成24年度	3,939	宅地開発指導事務の実施など
平成25年度	4,083	宅地開発指導事務の実施など
平成26年度	3,906	宅地開発指導事務の実施など
平成27年度	3,906	宅地開発指導事務の実施など
合計	19,812	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
開発審査件数	適正に審査	適正に審査	適正に審査	適正に審査	適正に審査
違反宅地・建築物に対する現地確認回数	49回	52回	52回	52回	52回
開発許可件数	適正に審査し許可	適正に審査し許可	適正に審査し許可	適正に審査し許可	適正に審査し許可
開発許可から完了までの指導・監督	適正な指導・監督	適正な指導・監督	適正な指導・監督	適正な指導・監督	適正な指導・監督
違反宅地・建築物の是正件数	指導を行い是正させる	指導を行い是正させる	指導を行い是正させる	指導を行い是正させる	指導を行い是正させる

基盤整備の充実～

基本施策1 個性が活きる、住み続けたいまちにします

【会計】一般会計

施策2 地域の個性を活かした健全なまちづくりに努めます 2款：総務費 1項：総務管理費 14目：地域振興費

事業名	541	住居表示整備事業		
担当所属	自治人権推進課	事業期間	昭和47年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	住居表示管理システムを用いて住居表示台帳を適切に管理するとともに、住居表示実施区域の街区案内板等の管理・補充を行い住みよい街づくりを目指します。
事業の目的	住居表示管理システムによる住居表示台帳の管理、街区案内板の維持管理を行います。また、住居表示に関すること及び町名変更についての案件が生じた際に住居表示審議会を開催します。
事業の効果	合理的でわかりやすい住所の表示と法律により規定されている住居表示台帳の管理ができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	2,522	住居表示管理システム保守、住居表示審議会開催、住所表示板の補充購入
平成24年度	2,707	住居表示管理システム保守、住居表示審議会開催、住所表示板の補充購入
平成25年度	2,518	住居表示管理システム保守、住居表示審議会開催、住所表示板の補充購入
平成26年度	1,878	住居表示管理システム保守、住居表示審議会開催、住所表示板の補充購入
平成27年度	1,878	住居表示管理システム保守、住居表示審議会開催、住所表示板の補充購入
合計	11,503	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
住居表示審議会開催回数	1回	1回	1回	1回	1回
住居表示台帳異動件数	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件
住居表示板の購入件数	380枚	300枚	300枚	300枚	300枚
街区案内板の更新・改修数	3箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所
町名変更等の実施件数	1件	1件	0件	1件	0件
街区案内板の更新、改修率	5%	5%	5%	5%	5%

～都市基盤整備の充実～

基本施策1 個性が活きる、住み続けたいまちにします

【会計】一般会計

施策2 地域の個性を活かした健全なまちづくりに努めます 7款：土木費3項：都市計画費2目：土地区画整理費

事業名	7590	市街地整備支援事業		
担当所属	都市計画課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	施行中の土地区画整理事業を支援し、事業の適正化と早期完了に資するとともに、新規の市街地整備事業(土地区画整理事業・市街地再開発事業等)については佐倉市都市マスタープランに基づき、事業化の是非の検討を含め、計画段階からの確な支援を行い、計画的な市街地形成を図ります。
事業の目的	土地区画整理事業に対して、助成を行うことにより、事業者の負担軽減を図り事業が促進されることで、良好な市街地の形成に資することを目的とします。
事業の効果	道路や公園、下水道施設などの公共施設の整備及び改善が実現し、住みたい、住み続けたいまちの基盤が形成されます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度		
平成24年度		
平成25年度		
平成26年度	3,900	(仮) 江原台第二土地区画整理事業の認可に要する経費への助成
平成27年度		
合計	3,900	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市街地整備事業の相談件数	3件	3件	2件	2件	1件
認可取得団体数	—	—	—	1団体	—
計画的な土地利用が図られていると思う市民割合	20%	20%	20%	35%	35%

～都市基盤整備の充実～

基本施策1 個性が活きる、住み続けたいまちにします

【会計】一般会計

施策3 景観形成による愛着と誇りをもてるまちづくりに

7款：土木費 3項：都市計画費 1目：都市計画総務費

努めます

事業名	7564	景観推進事業		
担当所属	都市計画課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観法に基づいた景観計画を策定します。</li> <li>・景観に対する意識の高揚と啓発を図りながら、地域の特性を活かした景観形成を推進します。</li> <li>・公共サイン計画に基づき設置した歩行者用案内板などの公共サインを維持管理し、必要に応じて修繕を実施します。</li> </ul>
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性を活かした景観形成を推進します。</li> <li>・住民主体による地域景観計画の策定により、地域の景観に対する意識の向上を図ることができます。</li> </ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性を活かした景観形成を図ることにより、住みやすい・住み続けたい住環境の創出や地域の活性化につながります。</li> <li>・住民の方や来訪者の方が、地域の魅力を感じることで、誇りや愛着がもてるまちとなります。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	8,236	公共サイン補修など
平成24年度	2,890	景観審議会開催など
平成25年度	3,268	景観計画策定業務委託、景観審議会開催など
平成26年度	7,261	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画策定業務委託、景観審議会開催など</li> <li>・公共サイン補修</li> </ul>
平成27年度	14,064	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画策定業務委託、景観審議会開催など</li> <li>・公共サイン補修</li> </ul>
合計	35,719	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
景観推進モデル地区数	1 地区	1 地区	1 地区	1 地区	1 地区
会議の開催回数	5 回	5 回	5 回	5 回	5 回
公共サイン補修箇所	3 箇所	3 箇所	3 箇所	2 箇所	2 箇所
景観形成基準策定数	-	-	-	-	1 基準
景観が良好と感じる市民の割合	61.8%	60%	60%	60%	60%

都市基盤整備の充実～

基本施策 1 個性が活きる、住み続けたいまちにします

【会計】一般会計

施策 4 市民によるまちづくりに努めます

7 款：土木費 3 項：都市計画費 1 目：都市計画総務費

事業名	7560	地区計画推進事業		
担当所属	都市計画課	事業期間	平成 23 年度～平成 27 年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民が進める地区計画原案作成の支援を行うとともに、決定済み地区計画の適正な運用管理を行います。</li> <li>・地元から提出された原案を尊重しながら、地区計画の都市計画決定手続を行います。</li> </ul>
事業の目的	地区単位のきめ細かいまちづくりに関するルールの方針策定を通じて、地区内の住環境への関心を高めるとともに、ルールの順守を通じて住環境の向上をはかります。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住環境の向上が図れます。</li> <li>・地区内の住環境への関心が高まります。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成 23 年度	600	地区計画の手引き印刷
平成 24 年度	600	推進用パンフレット印刷
平成 25 年度	355	ホームページによる制度の周知 地区計画導入地区へ周知のため地区計画の手引き印刷 市民による住環境整備ルール作りを支援など
平成 26 年度	678	ホームページによる制度の周知 地区計画導入地区へ周知のため地区計画の手引き印刷 市民による住環境整備ルール作りを支援など
平成 27 年度	355	ホームページによる制度の周知 地区計画導入地区へ周知のため地区計画の手引き印刷 市民による住環境整備ルール作りを支援など
合計	2,588	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
地区計画導入支援	-	1 回	1 回	1 回	1 回
地区計画届出件数	200 件	200 件	200 件	200 件	200 件
地区計画決定件数	17 地区	17 地区	18 地区	18 地区	18 地区
良好な住環境ができていると思う市民割合	45.0%	45.5%	45.5%	45.5%	45.5%



～都市基盤整備の充実～

基本施策2 住環境が良好なまちにします

【会計】一般会計

施策1 良好な住環境の整備に努めます

7款：土木費 4項：住宅費 1目：住宅費

事業名	7675	住生活基本計画策定事業		
担当所属	建築住宅課	事業期間	平成23年度～平成25年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	住宅施策を推進するため、佐倉市住生活基本計画策定検討委員会からの提言を基に、佐倉市住生活基本計画を策定し、策定後は佐倉市住生活基本計画推進協議会を開催する等、計画の推進に努めます。
事業の目的	市民の豊かな住生活を実現するために、佐倉市の地域の活性化及び地域独自の需要に応じた住宅計画を策定します。また、策定後は計画の推進に努めます。
事業の効果	佐倉市住生活基本計画の策定により、住宅施策が推進され、豊かな住まい・環境・地域社会の実現が図られます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	0	関係部局の計画等の調査等
平成24年度	4,242	住生活基本計画策定基礎調査等
平成25年度	29,869	住生活基本計画検討委員会開催等
平成26年度	1,257	空き家対策として、空き家の利活用を促進するための空き家バンクサイトの創設 佐倉市住生活基本計画推進協議会開催
平成27年度	263	空き家バンクサイトの運営 佐倉市住生活基本計画推進協議会開催
合計	35,631	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
住生活基本計画策定庁内検討会会議	1回	8回	11回	1回	
住宅施策の策定	準備	調査、策定	完了	施策の検討・実施	
市民の豊かな住生活の実現	45.4%	45.4%	45.4%	50%	

～都市基盤整備の充実～

基本施策2 住環境が良好なまちにします

【会計】一般会計

施策1 良好な住環境の整備に努めます

7款：土木費 4項：住宅費 2目：市営住宅建設費

事業名	7678	市営住宅修繕事業		
担当所属	建築住宅課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	既存市営住宅を維持管理し、施設の長寿命化を図るため、佐倉市営住宅長寿命化計画を策定します。また、入居者の安全性、快適性の向上を図るため、計画に基づき、市営住宅の屋根、外壁、風呂、トイレ等の大規模改修工事を実施します。
事業の目的	市営住宅の長寿命化により、維持管理費の縮減を図ります。また、入居者の安全性、快適性の確保を行います。
事業の効果	入居者の安全性・快適性が確保でき、また市営住宅の長寿命化とともにライフサイクルコストが縮減され、さらに効率的な維持管理が行えます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	4,000	市営住宅退去に伴うリフォーム事業
平成24年度	34,073	市営住宅退去に伴うリフォーム事業、住宅外壁塗装等
平成25年度	51,145	市営住宅退去に伴うリフォーム事業、住宅外壁塗装等
平成26年度	4,000	市営住宅退去に伴うリフォーム事業
平成27年度	6,961	排水管等の清掃（堀の内住宅・藤沢住宅・大蛇住宅） 市営住宅退去に伴うリフォーム事業
合計	100,179	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市営住宅の補修件数	5件	5件	5件	5件	5件
市営住宅を改修した棟数	0棟	3棟	4棟	0棟	0棟
改修により長寿命化が図られた棟数の割合	0%	42.9%	100%		

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策2 住環境が良好なまちにします

【会計】一般会計

施策1 良好な住環境の整備に努めます

事業名	9305	市営住宅解体事業		
担当所属	建築住宅課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	昭和30年代に建設した市営住宅は、老朽化が顕著となっています。空き家となった市営住宅について、老朽化等により安全性が確保できないと判断された場合においては、火災や不法占拠等により周囲に迷惑をかける可能性があるなど管理上支障をきたすことから、解体処分します。
事業の目的	市営住宅を適正に管理するとともに、周辺住民の安全性を確保します。
事業の効果	安全性が確保でき、市営住宅の管理が適正に行えます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	1,267	老朽化し安全性が確保できなくなった市営住宅が空き家になった段階で、廃止し解体をおこないます。
平成24年度	1,267	老朽化し安全性が確保できなくなった市営住宅が空き家になった段階で、廃止し解体をおこないます。
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度		
合計	2,534	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
解体する市営住宅の戸数	1戸	1戸	—	—	—
解体予定市営住宅解体率	—	—	—	—	—
防災面からの安全確保	100%	100%	100%	100%	100%

～都市基盤整備の充実～

基本施策2 住環境が良好なまちにします

【会計】一般会計

施策2 適正な建築行政に努めます

7款：土木費 1項：土木管理費 2目：建築管理費

事業名	862	建築審査及び指導事業		
担当所属	建築住宅課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	建築基準法、その他関係法令等により権限に属された事項について審査等をするために実施される「建築審査会、地区計画建築審議会、建築紛争調停委員会」に係る事務を行います。また、良好な居住環境の確保・保全するため、各種研修会・会議から建築等に関する情報を収集します。
事業の目的	住みやすいまちを整備・保全していくには法令に基づく適正な審査・指導が不可欠であり、そのために各種審議会や委員会等の開催や情報収集などを随時行っていくものです。
事業の効果	良好な住環境の確保及び保全をします。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	3,558	地区計画建築審議会、建築審査会など
平成24年度	3,418	地区計画建築審議会、建築審査会など
平成25年度	3,979	建築審査会など
平成26年度	3,737	建築審査会など
平成27年度	3,737	建築審査会など
合計	18,429	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
審査会・審議会の開催回数	14回	14回	11回	11回	11回
建築確認事前相談	相談に対し迅速に対応する。	相談に対し迅速に対応する。	相談に対し迅速に対応する。	相談に対し迅速に対応する。	相談に対し迅速に対応する。
違反建築物の指導件数	現場へ立ち入り違反建築物を減らす	現場へ立ち入り違反建築物を減らす	現場へ立ち入り違反建築物を減らす	現場へ立ち入り違反建築物を減らす	現場へ立ち入り違反建築物を減らす
検査率	95%	96%	97%	98%	99%
違反建築の是正件数	違反建築物に対し迅速に指導する。	違反建築物に対し迅速に指導する。	違反建築物に対し迅速に指導する。	違反建築物に対し迅速に指導する。	違反建築物に対し迅速に指導する。

～都市基盤整備の充実～

基本施策2 住環境が良好なまちにします

【会計】一般会計

施策2 適正な建築行政に努めます

7款：土木費 1項：土木管理費 2目：建築管理費

事業名	7622	建築行政適正化推進事業		
担当所属	建築住宅課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	建築基準法上の道路、建物情報等を電子データ化するとともに、データを電子地図上で確認できるシステムを整備し、窓口での対応等に活用します。また、建築相談窓口の充実や建築審査基準等の公表を行います。
事業の目的	建築確認概要書を電子データ化することなどにより、住宅建築の調査等に係る問合せに対して、迅速な回答を行います。
事業の効果	建築物や建築基準法上の道路に関する情報を一元的に管理することができます。また、閲覧資料を提供するまでの時間及び書類の写しの交付時間の短縮や、情報提供のワンストップ化が図れます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	504	建築行政支援システム構築事業など
平成24年度	25,846	建築行政支援システム構築事業など
平成25年度	2,268	建築行政支援のための環境整備 ・地図システムライセンス取得等、建築確認管理システムの連動業務等 ・保守（地図システム、建築確認管理システム） ・建築計画概要書電子データ化
平成26年度	324	・保守（地図システム、建築確認管理システム） ・建築相談窓口の充実 ・建築審査基準等の公表
平成27年度	324	・保守（地図システム、建築確認管理システム） ・建築相談窓口の充実 ・建築審査基準等の公表
合計	29,266	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
都市基盤情報を共有化し、公開するためのシステム開発	システム開発の準備	1システム	1システム	1システム	1システム
1件あたりの窓口対応時間の短縮	30分	10分	10分	10分	10分

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策2 住環境が良好なまちにします

施策2 適正な建築行政に努めます

事業名	10499	緊急雇用創出事業〔建築確認資料電子データ化事業〕		
担当所属	建築住宅課	事業期間	平成25年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	建築確認の概要を記した書類を電子データ化します。
事業の目的	建築確認概要書を電子データ化することで、問い合わせに対して迅速な対応ができるようになります。
事業の効果	閲覧のために該当する資料を提供するまでの時間、及び書類の写しの交付時間の短縮が図れます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	0	
平成24年度	0	
平成25年度	6,294	建築確認の概要を記した書類を電子データ化します。
平成26年度	0	
平成27年度	0	
合計	6,294	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
建築確認概要書の電子データ化に係る新規雇用人数			4人		
建築確認概要書の電子データ化枚数達成率			8,000枚		

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策2 住環境が良好なまちにします

施策2 適正な建築行政に努めます

事業名	緊急雇用創出事業〔道路資料電子データ化事業〕		
担当所属	建築指導課	事業期間	平成24年度

【実施計画の概要】

事業の内容	建築基準法上の道路に関する紙資料（道路位置指定図、公告文等）を電子データ化します。
事業の目的	建築基準法の道路に関する資料を電子データ化し、窓口対応による待ち時間の短縮化を目指します。現在の窓口対応では、地図で場所を確認し、過去の経過等の資料があることが記載されている場合には、ファイルから該当する資料を探し出しています。また、証明書等の要求があった場合には、紙資料をコピーして有料で配布しています。しかしながら、資料検索に相当の時間を要すること、また、過去資料の原本が紙で、今後、紛失または破損することも考えられることから、電子データ化の必要があります。
事業の効果	閲覧のために該当する資料を提供するまでの時間及び図面の写しの交付時間の短縮が図られます。また、原本の紙資料をデータ化することにより、紛失、破損等を防止できます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度		
平成24年度	9,941	建築基準法上の道路に関する紙資料（道路位置指定図、公告文等）を電子データ化します。
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度		
合計	9,941	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
資料の電子データ化	—	3,500枚	—	—	—

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 2項：道路橋梁費 4目：橋梁維持費

事業名	79	橋梁維持事業		
担当所属		道路建設課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が管理する道路橋梁について、今後の橋梁維持費の増大が懸念されることから、橋の長寿命化修繕計画を策定し、維持費の平準化をします。また、橋梁の適切な維持管理を行うとともに、耐震診断などの調査、工事等を実施し、安全、安心して利用できる橋梁とします。</li> <li>・災害時に緊急輸送道路となる東関東自動車道に架かる9橋の剥落防止工事を実施します。</li> <li>・河川改修等に伴い橋梁整備工事費を事業者負担します。</li> </ul>
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁の適切な維持管理を行うとともに、点検等の調査、維持、改修工事等を実施し、安全、安心して利用できることを目的とします。</li> <li>・橋の長寿命化修繕計画を策定し、計画的な補修工事を実施することにより、事業費を平準化し健全な管理をします。</li> <li>・特に鉄道、高速道路、国道などに架かる橋については、落橋防止、剥落防止等の補強工事を実施し、他の交通機関等への被害が及ばないように未然に防ぎます。</li> </ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋の長寿命化修繕計画が策定され、計画的な維持管理をすることにより、橋の延命措置ができ、事業費の削減ができます。また、計画的な補修工事を実施することにより、安全性が計れ、安心して通行ができます。</li> <li>・東関東自動車道路に架かる橋の剥落防止工事を実施することにより、緊急輸送道路としての機能確保に寄与します。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	26,600	橋梁点検調査、橋梁剥落防止工事
平成24年度	91,037	橋梁点検調査、長寿命化計画策定、橋梁剥落防止工事、橋改築負担金など
平成25年度	60,870	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化修繕計画策定業務委託</li> <li>・高岡跨線橋実施設計業務委託</li> <li>・飯田橋補修設計業務委託</li> <li>・直戸橋架替調査、設計業務委託</li> <li>・内山橋橋梁補修工事委託</li> <li>・竹入橋橋梁補修工事委託</li> <li>・宇那谷橋改築事業負担金</li> </ul>



平成 26 年度	55,020	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直戸橋補修工事</li> <li>・寺崎陸橋補修設計業務委託</li> </ul>
平成 27 年度	96,420	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高岡跨線橋改修工事</li> <li>・宇那谷橋改築事業負担金</li> </ul>
合計	329,947	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
整備箇所数	1 橋	2 橋	2 橋	2 橋	1 橋
橋梁点検数	35 橋	63 橋	—	—	—
剥落防止、補修工事終了橋梁数	1 橋	2 橋	2 橋	2 橋	1 橋
橋梁点検率	51%	100%	—	—	—

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

事業名	81	3・4・16太田・高岡線道路改良事業		
担当所属		道路建設課	事業期間	平成11年度～平成23年度

【実施計画の概要】

事業の内容	都市計画道路3・4・16太田高岡線の未整備区間のうち、主要地方道佐倉印西線山王入口交差点から藤治台団地までの区間を整備し、併せて高岡地区と城地区を結ぶ市道を拡幅整備することにより、朝夕の通勤車両による周辺生活道路の抜け道化の解消を図り、歩行者、自転車等交通弱者を保護します。
事業の目的	本路線を整備することにより、工業団地と県道佐倉印西線との円滑な交通誘導、周辺道路の交通渋滞緩和、市民生活の安全性や快適性の向上を図ります。
事業の効果	県道佐倉印西線をはじめとする周辺道路の交通渋滞の緩和、周辺団地からJR佐倉駅、物井駅への通行アクセスの向上が見込まれます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	58,810	道路改良工事、道路台帳作成
平成24年度		事業完了
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度		
合計	58,810	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
整備延長	469m	—	—	—	—
道路供用延長	469m	—	—	—	—
事業進捗率	100%	—	—	—	—

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 3目：街路事業費

事業名	297	3・4・5井野・酒々井線外1路線道路改良事業		
担当所属		道路建設課	事業期間	平成04年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	佐倉市の東西を結ぶ主要幹線道路として事業認可を取得している区間(全長1,146m)のうち、井野南土地区画整理区域内から市道I-3号線志津中学校脇までの区間(延長405m)を整備します。また、取得済の道路用地をパトロール・草刈等により適正に管理し、区域周辺の住環境を維持します。
事業の目的	市内を東西方向に通る本路線の整備により円滑な交通処理、良好な市街地環境の形成、災害時の防災性の向上を図り、併せて佐倉市の東西方向の幹線道路である国道296号の慢性的交通渋滞の解消を図ります。また、取得済用地の適正な管理により、害虫の発生の抑制や不審者対策に寄与します。
事業の効果	佐倉市と八千代市を結ぶ幹線道路として、社会経済活動の促進及び交通アクセスの充実に寄与し、また、国道296号の交通渋滞の解消につながります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	45,665	用地買収、補償、実施設計など
平成24年度	12,632	用地買収、補償、など
平成25年度	100,410	道路改良工事、橋梁修正設計・CBR試験業務委託、用地費・補償費・境界杭埋設、草刈業務委託
平成26年度	201,590	橋梁下部工事、草刈業務委託、支障電柱移設
平成27年度	367,100	橋梁上部工事、草刈業務委託、資材特別調査
合計	727,397	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
道路用地管理	19,000 m <sup>2</sup>	15,000 m <sup>2</sup>	10,000 m <sup>2</sup>	6,000 m <sup>2</sup>	6,000 m <sup>2</sup>
事業実施内容	—	—	道路改良工	橋梁下部工	橋梁上部工
道路用地買収面積	49.96 m <sup>2</sup>	95.12 m <sup>2</sup>	95.12 m <sup>2</sup>	101.25 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>
整備延長	720m	720m	720m	720m	720m
用地の取得率	95.1%	95.7%	95.7%	95.7%	95.7%
道路の供用開始延長	314.3m	—	—	—	—

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 2項：道路橋梁費 2目：道路維持費

事業名	592	道路維持管理事業		
担当所属		道路維持課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	佐倉市が管理する市道は、車両の大型化、交通量の増加などにより、道路の陥没・ひびわれ・破損・わだち掘れ・振動被害が年々増加しています。このため、交通の安全と円滑を図るため、市道及び法定外道路に関する道路施設(交通安全施設は除く)の維持・補修等の管理を行い、道路環境の確保に努めます。
事業の目的	道路の陥没・ひびわれ・破損・わだち掘れ等を解消することにより、振動等を抑制します。また、交通事故防止に寄与します。
事業の効果	道路の維持管理を行うことにより、大雨時の災害防止、交通の安全確保のほか、生活環境を確保します。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	182,811	道路の維持管理として、日常的な維持補修を通年実施します。
平成24年度	182,331	道路の維持管理として、日常的な維持補修を通年実施します。
平成25年度	216,294	道路の維持管理として、日常的な維持補修を通年実施します。
平成26年度	188,672	道路の維持管理として、日常的な維持補修を通年実施します。
平成27年度	188,672	道路の維持管理として、日常的な維持補修を通年実施します。
合計	958,780	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
要望箇所の現地確認件数(交通安全施設を除く)	要望箇所の 現地確認	1,400件	1,400件	1,400件	1,400件
補修件数	280件	1,400件	1,400件	1,400件	1,400件
要望に対する実施比率	100%	100%	100%	100%	100%

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 2項：道路橋梁費 3目：道路新設改良費

事業名	593	幹線道路整備事業		
担当所属		道路建設課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	I・II級幹線道路の拡幅改良等を行い、通学児童を含む社会的交通弱者等をはじめ、道路通行の安全性を確保し、国県道、都市計画道路を軸とした道路体系を早期に確立します。
事業の目的	現状の道路網を踏まえ、アクセス性の向上や渋滞解消などに対応するため、幹線道路の車道拡幅整備や歩道整備を行い、市民生活の安心、安全、快適性の向上を図りながら、国県道、都市計画道路を軸とした道路網の構築に努めます。
事業の効果	歩道整備や道路拡幅により道路利用者の安全性や快適性の向上が図られるとともに、幹線道路網を整備することにより交通渋滞の緩和や交通事故削減を図ります。また、アクセス性が向上することで地域間交流が拡大し地域経済の活性化が図られます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	143,500	I-9, I-42,6-263号線整備工事など
平成24年度	151,508	I-42,6-263号線整備工事, I-4, I-17, II-23号線設計業務, 用地購入など
平成25年度	120,359	羽鳥 I-17, 直弥 I-35, 下勝田・寒風 I-31, 白井田 I-42, 井野 II-23号線、岩富 6-263号線整備工事, 設計業務, 用地購入, 文化財調査など ・道路整備計画路線の整備工事を実施している I-31, I-35, I-42, I-17, II-23,6-263号線の、未買収地を積極的に取得します。
平成26年度	99,857	白井田 I-42号線、直弥 I-35号線、羽鳥 I-17号線の設計委託、調査委託、用地購入、整備工事など。岩富 6-263号線の道路台帳整備、幹線道路の交通量調査
平成27年度	73,832	白井田 I-42号線、直弥 I-35号線、羽鳥 I-17号線の設計委託、調査委託、用地購入、整備工事など。幹線道路の交通量調査6箇所
合計	589,056	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
道路用地取得	1462.24㎡	441.94㎡	685.92㎡	558.96㎡	776.47㎡
整備実施路線数	4路線	4路線	4路線	4路線	4路線
幹線道路、生活道路などの整備について良くなったと感じる市民の割合	35.8%			—	40%

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 2項：道路橋梁費 3目：道路新設改良費

事業名	735	市道I-49号線（佐倉城下町通り）整備事業		
担当所属		道路建設課	事業期間	平成18年度～平成26年度

【実施計画の概要】

事業の内容	城下町としての歴史的背景や景観、地域の利便性など多様な角度から道路整備に市民の意見を反映させながら、佐倉城下町通りの整備を実施します。
事業の目的	歩道のフラット化や無電柱化を実施することにより、歩行空間を確保し、社会的交通弱者等の安全性、快適性及び地域の活性化の向上を図ります。また、新町地区においては、電線を地中化することにより、城下町としての歴史的背景や景観を確保し良好な都市景観の形成に努めます。
事業の効果	歩道のフラット化整備により歩行者等の通行機能を確保することにより、市民生活の安全性や快適性の向上が図られるとともに、無電柱化により城下町としての良好な道路環境を生み出し、観光客の増加や交流を通しての地域間交流や地域経済の活性化を図ります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	131,500	新町、木町歩道整備工事
平成24年度	20,000	弥勒町歩道整備工事
平成25年度	23,000	弥勒町歩道整備工事 他付帯工事一式
平成26年度	3,300	電線類共同溝管理台帳作成
平成27年度		事業完了
合計	177,800	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
無電柱化整備	520m	520m	-	-	-
歩道整備	660m	200m	200m	440m	-
幹線道路、生活道路などの整備について良くなったと感じる市民の割合	35.8%	35.8%	35.8%	40%	40%

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 2項：道路橋梁費 3目：道路新設改良費

事業名	7289	馬渡・萩山線道路改良事業（市道I-23号線）		
担当所属		道路建設課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	都市計画道路馬渡・萩山線の小篠塚～馬渡の区間を小篠塚～岩富の区間にルートを変更し、山王～岩富区間の整備を進めます。
事業の目的	主要幹線道路である馬渡・萩山線を延伸整備することにより、市内と国道51号の交通アクセスの向上を図ります。
事業の効果	市の南北幹線道路である馬渡・萩山線の延伸整備により、交通アクセスの向上を図り、市民生活の利便性、産業振興などが得られます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	4,650	予備設計
平成24年度	36,701	路線測量、地質調査、実施設計
平成25年度	15	計画決定変更地元説明会 1回
平成26年度	6,615	路線測量 L=2,100m
平成27年度	28,388	実施設計、地質調査
合計	76,369	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
都市計画決定の変更	予備設計	実施設計	地元説明会	計画決定変更	—
年度内進捗率	100%	100%	100%	0%	0%
整備区域の確定	50%	50%	50%	50%	50%
用地買収面積	0%	0%	0%	10%	10%
道路・交通施設の整備について良くなったと感じる市民の割合	22.8%	—	—	—	25%

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 2項：道路橋梁費 2目：道路維持費

事業名	7344	舗装復旧工事業		
担当所属	道路建設課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	市道における水道管理設工事等に伴う舗装復旧工事について、道路占用者に代わり道路排水施設等の改修と併せて工事を実施します。
事業の目的	市道の占用工事に伴う舗装復旧工事を、市道の改修計画等と併せ計画的に行うことで、経費の削減を図ります。また、工事期間の短縮も併せて図ります。
事業の効果	占用工事実施路線について、舗装復旧工事と改修工事を同時に行うことで経費の削減ができ、工事期間の短縮により、通行の安全性や快適性の向上が図られます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	95,820	水道管理設工事後の舗装復旧工事
平成24年度	66,068	水道管理設工事後の舗装復旧工事
平成25年度	5,800	水道管理設工事後の舗装復旧工事
平成26年度		
平成27年度		
合計	167,688	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
復旧延長	3,100m	2,300m	2,300m	—	—
復旧面積	9,121㎡	12,378㎡	—	—	—
予算に対する執行率	100%	100%	100%	—	—



～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 2項：道路橋梁費 2目：道路維持費

事業名	7390	道路改修事業		
担当所属	道路維持課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	軽微な維持管理では対応できない、広範囲にわたる市道の破損等について、大規模な補修工事を計画的に実施し、安全で快適な道路の利用に供します。
事業の目的	市道は交通量の増加に伴い、道路の破損が進行し、通行の安全が損なわれるなどの問題が生じるため、計画的に改修整備を進めます。
事業の効果	交通の安全確保のほか、災害防止や生活環境の確保等の効果に寄与します。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	176,954	路面調査委託、道路改修工事など
平成24年度	163,840	路面調査委託、道路改修工事など
平成25年度	550,030	路面調査委託、道路改修工事など
平成26年度	265,759	FWD調査委託 L=3,100m 路面性状調査委託 L=120 km 道路法面構造物・道路付属施設点検委託 一式 道路改修延長 2,770m 畔田I-14号線、岩富6-64号線、上勝田I-26号線、本町I-9号線、西志津II-8号線、井野I-2号線、山王4-467号線外2路線
平成27年度	302,812	FWD調査委託 L=3,670m 路面性状調査委託 L=25 km 道路改修延長 3,310m 西ユーカリが丘I-3号線、生谷I-13号線、鹿島干拓1-517号線、下志津I-9号線、岩富6-36号線、大篠塚4-216号線、ユーカリが丘2-918号線外1路線、白銀I-9号線、王子台I-9号線
合計	1,459,395	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
整備延長	2,840m	1,890m	1,880m	2,770m	3,310m
補修調査箇所	11箇所	5箇所	7箇所	9箇所	10箇所
事業状況	-	1,890m	1,715m	2,770m	3,310m

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 3目：街路事業費

事業名	7403	寺崎・石川線外2路線道路改良事業		
担当所属		道路建設課	事業期間	平成24年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	佐倉市根郷地区の幹線道路網の体系的な整備や渋滞解消のため、都市計画道路太田高岡線、寺崎石川線と市道I-30号線の延伸整備を行います。
事業の目的	佐倉市根郷地区の幹線道路網の体系的な整備をすることにより、国道296号及び主要地方道佐倉印西線の交通量分散を図ります。
事業の効果	佐倉市根郷地区の幹線道路網の体系的な整備が図れ、移動時間の短縮、交通渋滞の緩和が図れます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	0	
平成24年度	17,310	道路予備設計、橋梁予備設計、地質調査
平成25年度	4,830	路線測量 L=1,400m
平成26年度	7,560	地質調査(詳細)
平成27年度	8,715	実施設計(市街化区域)
合計	38,415	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
道路整備に関する事前作業	準備	予備設計	路線測量	地質調査(詳細)	実施設計(市街化区域)
年度内進捗率	-	100%	100%	0%	0%
幹線道路、生活道路などの整備について良くなったと感じる市民の割合	35.8%	35.8%	35.8%	35.8%	40%

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 2項：道路橋梁費 3目：道路新設改良費

事業名	7522	生活道路整備事業		
担当所属		道路建設課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	生活道路の拡幅改良や歩道整備等を行い、通学児童を含む社会的交通弱者等をはじめ、道路通行の安全性を確保します。
事業の目的	老朽化や破損の著しい道路等の改修整備を計画的に実施し、安心、安全、快適性の向上を図ります。
事業の効果	道路改修等により通行機能の確保と、市民生活の安全性や快適性の向上が図られます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	4,000	JR佐倉駅、京成臼井駅周辺側溝蓋かけ工事
平成24年度	14,100	道路改良工事、JR佐倉駅、京成臼井駅周辺蓋かけ工事
平成25年度	3,100	下志津原2-490号線、太田4-280号線道路改良工事、JR佐倉駅、京成臼井駅周辺蓋かけ工事 ・寄付用地登記業務委託
平成26年度	14,620	工事 下志津原2-490号線道路改良工事・下志津原2-492号線の排水整備工事委託 西御門6-104号線測量、羽鳥7-83号線測量、下志津2-513号線測量
平成27年度	1,750	井野2-261号線用地測量委託
合計	37,570	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
整備延長	110m	270m	440m	133m	300m

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 2項：道路橋梁費 3目：道路新設改良費

事業名	7802	私道整備助成事業		
担当所属		道路維持課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	市道以外の生活道路を整備するために設置された道路愛護組合に対し、私道の整備（舗装等）を支援するため、道路整備費等の一部を助成します。
事業の目的	未整備や老朽化が著しい私道について、工事費等の一部を助成し、佐倉市が移管を受け、適切な道路の維持管理を行います。 また、移管を行わない場合についても、道路整備の助成を行います。
事業の効果	道路整備や道路移管を受けることにより、快適な道路環境が図れます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	9,460	道路愛護組合への助成など
平成24年度	9,020	道路愛護組合への助成など
平成25年度	4,680	道路愛護組合への助成など ・井野南道路愛護組合（道路整備） L=140m(工事 94m) ・臼井台26組道路愛護組合（道路台帳） L=105m
平成26年度	2,430	道路愛護組合への助成など ・井野南道路愛護組合（道路台帳作成） L=140m ・道路台帳作成
平成27年度	6,320	道路愛護組合への助成など ・上志津原道路愛護組合（用地測量、路線測量、設計） L=130m ・上志津道路愛護組合（路線測量、設計） L=95m ・道路台帳作成
合計	31,910	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
舗装整備延長	150m	199m	245m	—	—
測量、設計委託延長	105m	130m	225m	—	—
道路台帳作成延長	—	130m	245m	140m	—
舗装等の整備及び道路移管の完了	0事業	1事業	1事業	1事業	—
整備済組合数	0組合	1組合	1組合	1組合	—
移管を受けた組合数	0組合	0組合	1組合	1組合	—

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 3目：街路事業費

事業名	8044	上座・青菅線道路改良事業		
担当所属		道路建設課	事業期間	平成24年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	地域の幹線道路網の体系的な整備や地域の慢性的な交通渋滞の緩和を図るため、千葉県が進めている国道296号バイパス整備に併せ、都市計画道路上座青菅線の整備を行います。
事業の目的	本路線を整備することにより、地域の幹線道路網の体系的な整備や地域の慢性的な交通渋滞の緩和を図るため、交差点改良工事を進めます。
事業の効果	千葉県が進めている国道296号バイパスと、本路線整備を並行して進めることにより、市内より八千代市へ結ぶ道路として、社会経済の促進及び交通アクセスの体系を充実させます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度		
平成24年度		
平成25年度		
平成26年度	31,224	用地買収を行い道路境界標埋設後、所有権移転登記を行います。 道路詳細設計 L=150m
平成27年度	35,741	用地買収を行い道路境界標埋設後、所有権移転登記を行います。 道路改良工事 L=100m
合計	66,965	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
整備延長	—	—	—	詳細設計	道路改良
国道296号線バイパス整備地内用地委託事務	—	70%	100%	—	—
道路用地取得事業	—	—	—	70%	100%
事前調査	100%	100%	100%	50%	100%

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 2項：道路橋梁費 1目：道路橋梁総務費

事業名	9306	道路用地管理事業		
担当所属	土木河川課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	民間開発に伴う道路の帰属、市の事業による道路の新設や拡幅に伴う市道の認定、路線の変更や廃止に伴い、道路台帳の更新や整備することにより、適切な道路管理を行います。
事業の目的	道路台帳を整備することにより、道路の基礎的事項を総括して把握する事が出来、道路の整備、維持管理に活用することが出来ます。
事業の効果	道路台帳を整備し、施設の効率的かつ有効的に維持管理を行い市民サービスの向上をはかります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	11,069	道路台帳更新業務(現地測量含む)
平成24年度	8,499	道路台帳更新業務(現地測量含む)
平成25年度	6,449	道路台帳更新業務(現地測量含む)
平成26年度	9,652	道路台帳更新業務(現地測量含む)
平成27年度	9,652	道路台帳更新業務(現地測量含む)
合計	45,321	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
道路台帳整備延長	9.7km	9.7km	8.0km	8.0km	8.0km
道路台帳整備路線数	50路線	50路線	50路線	50路線	50路線

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 2項：道路橋梁費 1目：道路橋梁総務費

事業名	9307	道路境界確定事業		
担当所属	土木河川課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	市道及び法定外公共物(道路、水路)の境界未確定箇所について、確定作業を進め、確定箇所の境界標の埋設や区域線図を作成し、適切な道路管理を行います。
事業の目的	道路、水路を適切に管理するため、境界未確定部分の解消を図ります。 境界確定により道路等の損傷が発生した場合など速やかに対応することができます。
事業の効果	市道及び法定外公共物(道路・水路)の適正な管理が図れます。また、道路、水路の適切な機能管理に資するとともに、隣接する土地所有者が確認申請や土地の売買、分筆登記など必要な場合に境界の確認ができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	40,721	境界確定申請を受け、境界確定協議を実施する。 道路境界確定業務委託、境界杭埋設及び道路区域線図作成等の業務委託など
平成24年度	35,057	境界確定申請を受け、境界確定協議を実施する。 道路境界確定業務委託、境界杭埋設及び道路区域線図作成等の業務委託など
平成25年度	36,963	境界確定申請を受け、境界確定協議を実施する。 道路境界確定業務委託、境界杭埋設及び道路区域線図作成等の業務委託など
平成26年度	40,081	境界確定申請を受け、境界確定協議を実施する。 道路境界確定業務委託、境界杭埋設及び道路区域線図作成等の業務委託など
平成27年度	40,081	境界確定申請を受け、境界確定協議を実施する。 道路境界確定業務委託、境界杭埋設及び道路区域線図作成等の業務委託など
合計	192,903	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
境界確定申請件数	申請件数	申請件数	申請件数	申請件数	申請件数
境界杭埋設及び道路区域線図作成等委託件数	55件	55件	55件	55件	55件
境界確定成立件数	成立件数	成立件数	成立件数	成立件数	成立件数
確定率	60%	65%	65%	70%	70%

基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 2項：道路橋梁費 1目：道路橋梁総務費

事業名	9308	法定外公共物管理事業		
担当所属	土木河川課	事業期間	昭和23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	法定外公共物（道路、水路）の用地管理や境界確定を行うため、システムを活用して現状把握を行います。また、常に活用できるようにシステムの管理を行います。
事業の目的	法定外公共物（道路、水路）に関するデータをシステムに格納し、必要なデータの確認や情報提供、適正な維持管理に役立ちます。
事業の効果	システムから必要とする該当データを瞬時に取り出すことが出来るため、情報提供や管理上必要な措置が迅速に行うことが出来ます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	902	法定外公共物（道路・水路）の管理など
平成24年度	902	法定外公共物（道路・水路）の管理など
平成25年度	882	法定外公共物（道路・水路）に係るデータをコンピュータで管理し、必要な時に該当データを瞬時に取り出し、照会等に対する情報提供や管理上必要な情報を提供します。また、法定外公共物管理システムの保守・管理を行います。
平成26年度	895	法定外公共物（道路・水路）に係るデータをコンピュータで管理し、必要な時に該当データを瞬時に取り出し、照会等に対する情報提供や管理上必要な情報を提供します。また、法定外公共物管理システムの保守・管理を行います。
平成27年度	895	法定外公共物（道路・水路）に係るデータをコンピュータで管理し、必要な時に該当データを瞬時に取り出し、照会等に対する情報提供や管理上必要な情報を提供します。また、法定外公共物管理システムの保守・管理を行います。
合計	4,476	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
法定外公共物データ管理	1,730 km	1,730 km	1,730 km	1,730 km	1,730 km
法定外公共物管理システムの管理	システムの保守管理	システムの保守管理	システムの保守管理	システムの保守管理	システムの保守管理
データ管理と効率的な活用	現状の把握をする。	現状の把握をする。	現状の把握をする。	現状の把握をする。	現状の把握をする。



第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」～都市

基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

事業名	9309	市道・法定外公共物管理システム整備事業		
担当所属	土木河川課	事業期間	平成24年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	道路管理情報を電子化するためのシステムを作成し、境界の確定した箇所の区域線図など、道路に関連する他の部署の情報システムと連携して一元化した情報提供を図ります。
事業の目的	紙ベースで保管されている道路管理情報に関して、他の部署の管理情報と連携して電子化したシステムにより、効率的に一元化した情報提供を図ります。
事業の効果	道路認定の有無や市道の路線番号の照会に対し、迅速に情報提供出来ます。また、市道や法定外公共物(赤道、水路)の境界確定の有無の確認や確定図面を迅速に提供することができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度		
平成24年度	4,141	道路台帳及び区域線図ファイリング
平成25年度	768	道路管理システムの構築 境界確定図書及び譲与契約図書のファイリングシステムデータ作成
平成26年度		
平成27年度		
合計	4,909	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市道・法定外公共物管理システムの整備	—	システム整備	システム整備	—	—
市道・法定外公共物管理情報の効率的な活用	—	迅速な情報の把握	迅速な情報の把握	迅速な情報の把握	迅速な情報の把握

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

施策1 快適な道路環境に努めます

事業名	9312	井野・酒々井線道路改良事業（市道I-32号線）		
担当所属	道路建設課	事業期間	平成4年度～平成23年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	東西方向の幹線道路である国道296号の慢性的な交通渋滞の緩和策として、井野・酒々井線（I-32号線）を整備することにより、移動時間の短縮に留まらず、災害時の避難路及び緊急輸送路等の防災対策、地域間の交流や、沿道の土地利用による地域活性化など、路線周辺への波及効果が期待できます。また、井野・酒々井線（市道I-32号線）道路改良の一環として接道する市道7-26号線の道路整備についても、整備を進めます。
事業の目的	本路線を整備することにより、市内の幹線道路として交通渋滞の解消を図り、社会経済活動の促進及び市民生活の利便性を図ります。
事業の効果	本路線は、臼井地区と佐倉地区の東西を結ぶ主要路線であることから、交通アクセスの充実を図るだけでなく、流通、防災、地域連携など都市計画全体としての目的や効果が図れます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	28,300	埋蔵文化財報告書作成
平成24年度		
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度		
合計	28,300	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
報告書作成部数	300部				
整備延長	2,550m				

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

事業名	9313	四街道・井野線道路改良事業		
担当所属	道路建設課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	西志津7丁目地先から県道四街道上志津線までの道路整備を進めます。
事業の目的	佐倉市西部(志津地区)地域の幹線道路網の体系的な整備を図り、移動時間の短縮、交通渋滞の緩和を図ります。
事業の効果	佐倉市西部(志津地区)地域の幹線道路網の体系的な整備が図れ、移動時間の短縮、交通渋滞の緩和が図れます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度		
平成24年度		
平成25年度		平成29年度からの事業化に向けての準備を行います。
平成26年度		平成29年度からの事業化に向けての準備を行います。
平成27年度		平成29年度からの事業化に向けて準備をおこないます。
合計	0	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
整備延長(予算)	-	-	-	-	-
道路、交通施設整備について良くなったと感じる市民の割合	22.8%	-	-	-	-

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 3目：街路事業費

事業名	9314	勝田台・長熊線整備事業		
担当所属		志津霊園対策室	事業期間	平成21年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	<p>1. 都市計画道路勝田台長熊線志津霊園関連区間の開通 平成26年度までに①代替地造成工事費相当額の負担、②墓地使用者と補償契約締結、③未買収地の取得を行い、平成26年度から平成27年度の間、志津霊園関連区間約158mの開通を目指します。</p> <p>2. 損害の回復 本昌寺墓地移転に関わる過去の事件で、市が勝訴判決で得た確定債権約1億3,000万円の回収は、費用対効果を考慮し、手段と時期等を勘案して進めます。</p>
事業の目的	<p>都市計画道路勝田台長熊線は、国道16号（八千代市勝田台）と国道51号（佐倉市長熊）を結ぶ、市の東西を横断する主要幹線道路であり、志津霊園関連区間を除き全線が開通しています。このため、物流等の地域経済の発展を支え、並行する国道296号の渋滞緩和を図る道路として、早期開通を目指して整備を進めます。</p>
事業の効果	<p>志津霊園関連区間が開通することにより、迂回路となっている志津霊園周辺の交通安全の向上、国道296号の渋滞緩和や地域経済の発展が期待できます。</p>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	231,580	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本昌寺墓地使用者との補償契約締結、本昌寺墓地移転代替地造成工事費相当額の支払、未買収地の取得</li> <li>・市の損害回復を図るため、法的手段の検討及び手続の執行</li> </ul>
平成24年度	438,904	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本昌寺墓地移転補償費（本昌寺分・墓地使用者分）の支払、本昌寺墓地移転代替地造成工事費相当額の支払、収用手続きによる未買収地の取得</li> <li>・市の損害回復を図るため、法的手段の検討及び手続の執行</li> </ul>
平成25年度	228,944	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本昌寺墓地使用者への補償費の支払</li> <li>・市の損害回復を図るため、法的手段の検討及び手続の執行</li> </ul>
平成26年度	264,284	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終合意書(21年12月締結)及び和解合意書(25年3月締結)に基づく本昌寺の移転補償金及び支払留保補償金の支払</li> <li>・市道2-1002号線(志津霊園周辺)の拡幅工事</li> <li>・道路建設工事 L=158m</li> <li>・市の損害回復を図るため、法的手段の検討及び手続の執行</li> </ul>
平成27年度	2,922	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の損害回復を図るため、法的手段の検討及び手続の執行</li> <li>・道路台帳作成 L=158m</li> <li>・交換取得地管理</li> </ul>
合計	1,166,634	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
交渉対象墓地使用者数	22名	8名	5名	—	—
補償契約締結等墓地使用者数	22名	8名	5名	—	—
収用裁決申請件数	3件	—	—	—	—
収用裁決・和解の結果、明渡を求める土地筆数	—	—	9筆	2筆	—
収用裁決・和解の結果、明渡を受けた土地筆数	—	—	9筆	2筆	—
幹線道路の整備ができていると思う市民の割合	35.8%	—	—	—	40%
道路建設延長	—	—	—	157.5m	—

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

事業名	9394	道路維持車両整備事業		
担当所属	道路維持課	事業期間	平成25年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	道路は市民生活の根幹を成すものであり、交通の安全性などを含む良好な生活環境を確保するため、維持管理は不可欠です。このことから、緊急時に対応できるように維持修繕を行う車両の整備が重要ですが、現在保有している車両の老朽化が進み、機械の修理もままならない状況となっています。道路施設の維持管理に努める上において、緊急時に直接対応できる車両の整備を行います。
事業の目的	道路の維持管理における日常的な維持補修作業を行うと共に、災害発生や災害の危険性のある時など、重機の使用は不可欠であるが、業者手配では時間的な問題が発生するため、緊急時に対応できるように自己保有する必要があります。
事業の効果	災害発生時の土砂撤去等を速やかに行うことができることから、2次災害の防止や市民生活の環境確保ができ、交通の安全に寄与することができます。また、平常時には各種作業に活用することにより、作業の効率を図ることができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	0	
平成24年度	0	
平成25年度	9,555	ホイールローダー購入 1台
平成26年度	0	
平成27年度	0	
合計	9,555	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
ホイールローダー購入	—	—	1台	—	—

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

7款：土木費 2項：道路橋梁費 2目：道路維持費

事業名	10495	駅前広場整備事業		
担当所属		道路維持課	事業期間	平成25年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	市で管理しているJR佐倉駅の北口、南口、京成佐倉駅の北口、南口、臼井駅の北口、南口、ユーカリが丘駅の北口、南口、志津駅の南口の9か所の駅前広場の整備を実施します。また、JR佐倉駅の北口、南口、ユーカリが丘駅の北口、南口のエレベーターの防災対策を実施します。
事業の目的	駅前広場の利用者に安全性と憩いの場を提供します。
事業の効果	駅前広場の利用者の安全性が図られます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	0	
平成24年度	0	
平成25年度	71,023	JR佐倉駅の北口、南口、ユーカリが丘駅の北口、南口のエレベーターの防災対策を実施します。
平成26年度	6,360	臼井駅南口の施設の改修をします。 排水整備 L=16m 舗装改修 A=213㎡ 休憩施設整備 4箇所
平成27年度	0	
合計	77,383	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エレベーターの防災対策基数	—	—	4基	—	—
駅前広場の改修数	—	—	—	1箇所	1箇所
エレベーターの防災対策率	—	—	100%	—	—
駅前広場の改修数	—	—	—	1箇所	1箇所

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」～都市

基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策1 快適な道路環境に努めます

事業名	10498	緊急雇用創出事業〔道路境界確定資料電子データ化事業〕		
担当所属	土木河川課	事業期間	平成25年度～平成25年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	道路境界確定資料（確定申請書、確定報告書、境界同意書、参考図面、参考資料等）を電子データ化しファイリングします。
事業の目的	永年保存である道路境界確定資料を電子データ化し、劣化や災害等から保守し必要時に迅速に確認できるようにします。
事業の効果	道路確定資料を迅速に確認することができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度		
平成24年度		
平成25年度	41,715	道路境界確定資料（確定申請書、確定報告書、境界同意書、参考図面、参考資料等）を電子データ化しファイリングします。
平成26年度		
平成27年度		
合計	41,715	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
電子データ化枚数			240,000枚		



第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

施策1 快適な道路環境に努めます

事業名	緊急雇用創出事業〔市道・法定外公共物管理システム整備事業〕		
担当所属	土木河川課	事業期間	平成24年度～平成24年度

【実施計画の概要】

事業の内容	既存の市道・法定外公共物管理システムに、道路台帳（区域線図）を電子データ化してファイリングするものです。
事業の目的	市民ニーズや道路管理に対し道路（水路を含む）に関する大量の情報から、迅速に必要な情報提供をするとともに、道路管理上必要な措置に迅速に対応できるようにするものです。
事業の効果	道路管理情報を迅速に提供することができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度		
平成24年度	9,870	既存の市道・法定外公共物管理システムに、道路台帳（区域線図約21千枚）を電子データ化してファイリングする。
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度		
合計	9,870	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
道路台帳の電子データ化枚数	—	21,000枚	—	—	—
電子データ化冊数	—	420冊	—	—	—

事業名	9315	街灯補助事業		
担当所属	道路維持課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	街灯補助金交付規則が施行される以前は、街灯は開発業者等が施設を設置し、地元へ管理移管していたため、電気料金等全てが地域住民の負担となっていました。自治会等が設置・管理する街灯に係る経費の一部を助成することにより、住民負担の軽減を図ると共に市民生活の安全・安心を確保します。
事業の目的	街灯補助金交付規則が施行される以前、街灯の電気料金等全てを自治会が負担していましたが、この負担を軽減するため、自治会等が設置・管理する街灯に係る経費の一部を助成します。
事業の効果	自治会等で設置および管理する街灯に係る経費の一部を助成することにより、街灯の管理等が行き届くことから、街中の照明が確保され、住みやすく安全で快適な街となります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	41,546	自治会管理街灯への助成などを行います。
平成24年度	41,543	自治会管理街灯への助成などを行います。
平成25年度	51,850	自治会管理街灯への助成などを行います。
平成26年度	57,015	自治会管理街灯への助成などを行います。
平成27年度	57,015	自治会管理街灯への助成などを行います。
合計	248,969	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
街灯設置の助成団体数	210団体	210団体	210団体	220団体	220団体
街灯修繕の助成数	300灯	300灯	300灯	380灯	380灯
新規街灯設置数	120灯	120灯	120灯	100灯	100灯
自治会により適正に管理された街灯数	15,100灯	15,100灯	15,200灯	15,500灯	15,500灯

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策2 交通危険箇所の解消に努めます

7款：土木費 1項：土木管理費 1目：土木総務費

事業名	9316	交通安全施設維持管理事業		
担当所属		道路維持課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	駅の昇降機設備の保守点検、ガードレール・道路反射鏡・街灯等の設置及び維持補修とセンターライン等の区画線の補修を行い、交通安全、歩行者安全の確保および駅利用者の利便性を向上させます。
事業の目的	交通安全、歩行者安全等の確保のため、街灯、道路反射鏡、警戒標識や路面標示の設置、あるいは維持管理することにより、交通事故の防止と交通安全の促進を図ります。また、駅に設置されているエレベーターやエスカレーター等の保守点検を行うことにより、駅利用者の利便性の向上を図ります。
事業の効果	道路の安全を確保することにより、交通事故の防止を図ると共に市民の安全性を更に向上させます。また、駅に設置されているエレベーターやエスカレーター等の保守点検を実施することにより、駅利用者の利便性が向上し、住みやすい安全で快適な街となります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	62,812	機器保守点検（ユーカリが丘・JR佐倉駅） 3箇所 安全施設維持補修工事（街灯・区画線など） 155箇所 安全施設設置工事（街灯・区画線など） 33箇所
平成24年度	65,463	機器保守点検（ユーカリが丘・JR佐倉駅） 3箇所 安全施設維持補修工事（街灯・区画線など） 155箇所 安全施設設置工事（街灯・区画線など） 33箇所
平成25年度	73,240	機器保守点検（ユーカリが丘・JR佐倉駅） 3箇所 安全施設維持補修工事（街灯・区画線など） 155箇所 安全施設設置工事（街灯・区画線など） 33箇所
平成26年度	74,642	機器保守点検（ユーカリが丘・JR佐倉駅） 3箇所 安全施設維持補修工事（街灯・区画線など） 155箇所 安全施設設置工事（街灯・区画線など） 33箇所
平成27年度	74,642	機器保守点検（ユーカリが丘・JR佐倉駅） 3箇所 安全施設維持補修工事（街灯・区画線など） 155箇所 安全施設設置工事（街灯・区画線など） 33箇所
合計	350,799	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
街灯補修件数	100件	100件	100件	100件	100件
カーブミラー設置数	50基	50基	50基	50基	50基

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策2 交通危険箇所の解消に努めます

7款：土木費 1項：土木管理費 1目：土木総務費

事業名	9317	交通安全施設整備事業		
担当所属	道路維持課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	交通安全、歩行者安全等に資するため、街灯、道路反射鏡、警戒標識、ガードレール及び区画線等を整備します。
事業の目的	車両、歩行者等の通行の安全を確保するため、安全施設等を整備し交通安全の促進を図ります。
事業の効果	道路の安全を確保することにより、交通事故の防止を図るとともに、市民の安全性を更に向上させます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	4,600	ガードレール設置、道路照明設置工事など
平成24年度	4,600	ガードレール設置、道路照明設置工事など
平成25年度	8,422	ガードレール設置、道路照明設置工事など 寺崎I-3 2号線街灯設置工事 17基 城I-3 3号線街灯設置工事 23基 区画線補修工事 一式
平成26年度	5,970	城I-33号線街灯設置 5基 区画線補修延長 2,360m 鏑木仲田町I-48号線、西志津I-9号線、青菅I-2号線、 生谷I-17号線外1路線、王子台I-45号線
平成27年度	5,880	区画線補修延長 3,300m 山王I-33号線、岩富町I-38号線、岩富6-259号線、 王子台3-282号線、鏑木町4-1号線、ユーカーが丘2-224号線
合計	29,472	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
区画線整備延長	5,000m	5,000m	5,000m	2,360m	3,300m
街灯設置数	—	—	40基	5基	—

～都市基盤整備の充実～

基本施策3 道路環境が充実した安全で快適なまちにします

【会計】一般会計

施策2 交通危険箇所の解消に努めます

7款：土木費 1項：土木管理費 1目：土木総務費

事業名	9796	緊急雇用創出事業〔交通安全施設現況調査事業〕		
担当所属	道路維持課	事業期間	平成25年度～平成25年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	緊急雇用事業を活用して、佐倉市が管理している道路安全施設の現況を再確認し、紙図面と紙台帳に記入されている街路灯、カーブミラーに関する情報をデジタル地図上に登録し、台帳に関してはパンチ入力を実施します。また、入力した情報と現地との整合を図るため、現地確認調査を実施します。なお、ガードレールに関しては、佐倉市全域の市道を対象として、現地調査を実施し、種類、延長、位置をデジタル地図上で確認できるようにします。
事業の目的	街路灯、カーブミラー、ガードレール等の交通安全施設については、台帳等是一部整備されているが、交通事故などにより破損した状態のものが多く存在していることから、全施設の現況確認をすることは急務です。また、調査結果をデジタル情報化することにより、今後の維持管理の基本情報等に活用し、併せて計画的な修繕を行います。
事業の効果	修理依頼などの要望等に対する市民サービスの向上及び安全を考慮した維持管理を行うことが出来ます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度		
平成24年度		
平成25年度	20,427	交通安全施設(街路灯、カーブミラー、ガードレールなど)の現況調査、台帳のデジタル化
平成26年度		
平成27年度		
合計	20,427	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
街路灯、カーブミラー、ガードレールの現況調査	—	—	現況調査	—	—
台帳のデジタル化	—	—	システム整備	—	—

～都市基盤整備の充実～

基本施策4 安定した水の供給を行います

【会計】一般会計

施策1 安全で安定した給水に努めます

4款：衛生費 3項：上水道費 1目：上水道施設費

事業名	7604	水源確保事業		
担当所属		企画政策課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	<p>上水道水源の確保を図るため、印旛郡市広域市町村圏事務組合が実施する印旛広域水道用水供給事業に対して、出資金及び負担金を支出します。</p> <p>印旛広域水道用水供給事業計画（平成22年度）：一日最大供給水量 166,700 立方メートル（うち佐倉市 48,120 立方メートル）</p> <p>水源：奈良俣ダム（完成）、霞ヶ浦導水、八ツ場ダム、印旛沼高度利用</p>
事業の目的	佐倉市で利用する上水道水源を確保し、市民に安定した水の供給を図ります。
事業の効果	印旛広域水道用水供給事業により、上水道の水源の確保及び長期安定供給化を図ることができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	93,416	市民に安全な水を安定的に供給するため、印旛広域市町村圏事務組合が所掌する印旛広域水道用水供給事業に出資等を行います。
平成24年度	93,416	市民に安全な水を安定的に供給するため、印旛広域市町村圏事務組合が所掌する印旛広域水道用水供給事業に出資等を行います。
平成25年度	52,449	市民に安全な水を安定的に供給するため、印旛広域市町村圏事務組合が所掌する印旛広域水道用水供給事業に出資等を行います。
平成26年度	32,459	市民に安全な水を安定的に供給するため、印旛広域市町村圏事務組合が所掌する印旛広域水道用水供給事業に出資等を行います。
平成27年度	65,210	市民に安全な水を安定的に供給するため、印旛広域市町村圏事務組合が所掌する印旛広域水道用水供給事業に出資等を行います。
合計	336,950	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
給水日数	366日	365日	365日	365日	366日
年度別供給計画に基づく一日最大受水量(計画)	21,000 m <sup>3</sup> /日	21,000 m <sup>3</sup> /日	21,000 m <sup>3</sup> /日	21,000 m <sup>3</sup> /日	21,000 m <sup>3</sup> /日
年度別供給計画に基づく一日最大受水量(実績)	18,000 m <sup>3</sup> /日	21,000 m <sup>3</sup> /日	21,000 m <sup>3</sup> /日	21,000 m <sup>3</sup> /日	21,000 m <sup>3</sup> /日
年間受水量	6,266,000 m <sup>3</sup>	6,819,000 m <sup>3</sup>	6,819,000 m <sup>3</sup>	6,819,000 m <sup>3</sup>	6,819,000 m <sup>3</sup>

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策4 安定した水の供給を行います

施策1 安全で安定した給水に努めます

事業名	9318	受水事業		
担当所属	施設課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	安定した水道水の供給を行うため、印旛広域水道用水供給事業より、必要量の浄水を受水します。
事業の目的	現在、地下水約62%、表流水約38%の割合で水道水をお配りしていますが、地下水では足りない分について、印旛広域水道用水供給事業より浄水を受水し、市民に対し、安心して利用できる安定した水道水の供給に努めます。
事業の効果	地下水と印旛広域水道用水供給事業からの受水のバランスを考え、必要量を受水することにより、市民への安定した水道水を供給することができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	1,180,561	印旛広域水道用水供給事業からの受水
平成24年度	1,369,548	印旛広域水道用水供給事業からの受水
平成25年度	1,370,000	印旛広域水道用水供給事業からの受水を行います。 日当り受水量 21,000 m <sup>3</sup>
平成26年度	1,341,254	印旛広域水道用水供給事業からの受水を行います。 日当り受水量 20,000 m <sup>3</sup>
平成27年度	1,344,906	印旛広域水道用水供給事業からの受水を行います。 日当り受水量 20,000 m <sup>3</sup>
合計	6,606,269	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
受水量	18,000 m <sup>3</sup> /日	21,000 m <sup>3</sup> /日	21,000 m <sup>3</sup> /日	20,000 m <sup>3</sup> /日	20,000 m <sup>3</sup> /日
受水量の計画と実績の割合	100%	100%	100%	100%	100%

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策4 安定した水の供給を行います

施策1 安全で安定した給水に努めます

事業名	9319	浄水場設備修繕・更新事業		
担当所属	施設課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	水道水の安定供給を行うため、無停電電源装置の設置、浄水場・水源監視テレメータ装置の更新、浄水装置の修繕、配水池屋根改修、配水ポンプ・中央監視制御設備設置等を行います。
事業の目的	上水道施設である地下水源、浄水場等の大規模な改修、修繕を行うことにより、施設の長寿命化を図り、市民への安全な水道水を安定して供給します。
事業の効果	・通常時はもとより、災害発生時においても、安全な水道水を安定して供給できます。 ・施設の長寿命化を図ることにより、施設維持に要する費用を削減し、安定した水事業経営が図れます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	627,975	無停電電源装置設置、配水地屋根改修
平成24年度	631,246	テレメータ装置更新、ろ過機弁交換、配水ポンプ、中央監視設備設置等
平成25年度	304,400	南部・志津・上座浄水場の設備の改修を行います。 除鉄・除マンガン装置修繕、配水圧力計交換、配水流量計交換
平成26年度	251,500	志津・南部・上座浄水場の設備の改修を行います。 配水・導水流量計更新、取水井テレメータシステム更新、フェンス更新、原水井水位計交換、監視施設設置
平成27年度	371,100	南部・志津浄水場の設備の改修を行います。 除鉄・除マンガン装置更新、配水・導水流量計更新
合計	2,186,221	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
改修施設数	3施設	3施設	3施設	6施設	2施設
改修施設累計数	3施設	6施設	9施設	15施設	17施設



第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策4 安定した水の供給を行います

施策1 安全で安定した給水に努めます

事業名	9320	水質管理事業		
担当所属		施設課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	安全で良質な水道水を供給するため、水質検査を実施します。また、濁り水等の発生を抑制するため、定期的に配水管の洗浄を実施します。
事業の目的	・水質検査を実施し、水道水に適した安全な水を供給します。 ・配水管洗浄を定期的に行うことにより、濁り水の発生を未然に防ぎ、水道水が使用出来ないことにより日常生活に支障をきたすなどの被害軽減を図ります。
事業の効果	水質検査、配水管洗浄を行うことにより、安心して上水道を利用することができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	7,261	水質検査委託、配水管洗浄委託
平成24年度	10,828	水質検査委託、配水管洗浄委託
平成25年度	16,100	水道法に基づく水質検査を実施します。また、濁水対策として、配水管の洗浄を実施します。
平成26年度	11,200	水道法に基づく水質検査を実施します。また、濁水対策として、配水管の洗浄を実施します。
平成27年度	15,700	水道法に基づく水質検査を実施します。また、濁水対策として、配水管の洗浄を実施します。
合計	61,089	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
毎日検査	1,098回	1,095回	1,095回	1,095回	1,098回
水質検査委託回数	4回	4回	4回	4回	4回
配水管洗浄地区数	4地区	4地区	6地区	2地区	6地区
水道法による水質基準に基づく検査実施率	100%	100%	100%	100%	100%
毎日検査の実施率	100%	100%	100%	100%	100%
配水管洗浄延長	8,000m	8,000m	12,000m	3,000m	12,000m

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策4 安定した水の供給を行います

施策1 安全で安定した給水に努めます

事業名	9321	拡張事業		
担当所属		施設課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	上水道の供給を求める地区に上水道管の整備を行います。また、未普及地域への給水開始の検討を行います。安定給水を図るため、上水道管を新たに整備します。
事業の目的	給水区域の拡大(土地区画整理事業など)を行うことにより、上水道使用可能人口を増やします。また、安定給水を図るため、上水道管を新たに整備します。
事業の効果	未普及地区に整備することにより、上水道が使用可能となります。また、安全で安定した給水となります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	56,500	給水区域の拡大
平成24年度	171,900	給水区域の拡大
平成25年度	101,115	寺崎特定土地区画整理事業地内等に新たに配水管を設置します。
平成26年度	0	
平成27年度	45,900	都市計画道路 井野・酒々井線外1路線(井野地先)の整備に併せて、配水管φ200mmを整備します。
合計	375,415	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
上水道管整備延長	0.6km	2.3km	2.5km	0km	0.2km
上水道管整備累計延長	0.6km	2.9km	5.4km	5.4km	5.6km
上水道使用可能世帯数	600世帯	600世帯	600世帯	—	—

～都市基盤整備の充実～

基本施策4 安定した水の供給を行います

【会計】一般会計

施策1 安全で安定した給水に努めます

4款：衛生費 1項：保健衛生費 5目：環境衛生費

事業名	9395	専用・簡易専用水道管理事業		
担当所属		生活環境課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	安全な水が供給されるよう工事をしようとする者からの申請に基づき、施設基準に適合するものであるかの審査、確認及び給水開始後立入調査等を行います。また、基準に適合していないと認めるときに、清掃その他の必要な措置を指示します。
事業の目的	専用水道、簡易専用水道の適正管理を促進します。
事業の効果	飲用水に起因する健康危機の回避が期待されます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度		
平成24年度	790	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県との事務引継ぎを行います。</li> <li>・各種研修・講習会へ参加します。</li> </ul>
平成25年度	544	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請に基づく審査を行います。</li> <li>・確認及び給水確認後の立入調査等を行います。</li> </ul>
平成26年度	487	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請に基づく審査を行います。</li> <li>・確認及び給水確認後の立入調査等を行います。</li> </ul>
平成27年度	487	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請に基づく審査を行います。</li> <li>・確認及び給水確認後の立入調査等を行います。</li> </ul>
合計	2,308	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
申請に基づく審査件数	-	-	申請に基づき 審査を行う	申請に基づき 審査を行う	申請に基づき 審査を行う
立入調査件数	-	-	-	-	-

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策4 安定した水の供給を行います

施策2 災害に強い水道施設の整備に努めます

事業名	9323	老朽管更新(耐震化)事業		
担当所属		施設課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	水は日常生活や経済活動に欠くことのできないものです。災害に強い上水道にするため、老朽管(石綿セメント管を含む)を耐震性の備わった水道管に入れ替えます。なお、石綿セメント管更新は平成24年度上期で終了する予定です。老朽管等の更新は、施設の耐用年数、漏水発生等の実態調査により、継続して更新(耐震化)事業を行います。
事業の目的	将来にわたって安全で安定的な水道水を供給し、地震や緊急時における水道施設の被害や水需要者への影響を最小限に食い止めるため、水道施設の耐震化整備を行います。
事業の効果	将来にわたって安全で安定的な水道水を供給し、地震や緊急時における水道施設の被害や水需要者への影響を最小限に食い止めることが出来ます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	927,180	石綿セメント管更新
平成24年度	717,248	主要水道管及び老朽管の更新
平成25年度	788,592	水道管設置後の経過年数や漏水補修、出細り等の状況を考慮して、既存の水道管の耐震化を図るため、老朽管等の更新(改良)を行います。(ユーカーが丘一丁目、江原台一丁目など) 導・配水管改修 φ50～300mm L=10.7km
平成26年度	827,064	水道管設置後の経過年数や漏水補修、出細り等の状況を考慮して、既存の水道管の耐震化を図るため、老朽管等の更新(改良)を行います。(ユーカーが丘一丁目、江原台一丁目など) 配水管等改修 φ50～300mm L=11.0km
平成27年度	889,460	水道管設置後の経過年数や漏水補修、出細り等の状況を考慮して、既存の水道管の耐震化を図るため、老朽管等の更新(改良)を行います。(ユーカーが丘一丁目、江原台一丁目など) 配水管等改修 φ50mm～450mm L=13.6km
合計	4,149,544	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
上水道管更新延長	7.8km	5.0km	10.7km	11.0km	13.6km
上水道管更新累計延長	7.8km	12.8km	23.5km	34.5km	48.1km

～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】下水道事業特別会計

施策1 生活系排水の適正処理に努めます

1款：下水道事業費 1項：総務管理費 3目：下水道施設管理費

事業名	850	下水道施設（汚水）維持管理事業		
担当所属		下水道課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	<p>公共下水道施設(汚水)である公共下水道管渠、マンホール、マンホールポンプ等が常に正常に機能するよう、施設の管理を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管渠内の調査を行い、管渠等が正常であることを確認し、詰り等があれば清掃します。</li> <li>・老朽化したマンホール蓋を交換し、振動等の原因となるマンホール周りの舗装修繕を行います。</li> </ul>
事業の目的	生活排水を適正処理するため、調査、点検、修繕等を行い、下水道施設建設時の最良の状態を長い間確保します。
事業の効果	施設の良い状態を保つことにより、排水能力を確保し、管路破損による道路陥没を未然に防ぐことにより交通事故を防止し、また、管路の詰りを防ぐことにより、臭気などの発生を抑制し、良好な生活環境を確保できます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	1,114,476	委託料、維持補修工事、負担金及び交付金など
平成24年度	1,060,356	委託料、維持補修工事、負担金及び交付金など
平成25年度	1,129,621	委託料、維持補修工事、負担金及び交付金など
平成26年度	1,257,461	委託料、維持補修工事、負担金及び交付金など
平成27年度	1,257,461	委託料、維持補修工事、負担金及び交付金など
合計	5,819,375	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
要望及び通報対応	100%	100%	100%	100%	100%
下水道施設の破損・管渠の詰り等の対応	200件	200件	200件	200件	200件

～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】下水道事業特別会計

施策1 生活系排水の適正処理に努めます

1款：下水道事業費 2項：下水道建設費 1目：下水道建設費

事業名	852	汚水整備事業（公共下水道汚水整備）		
担当所属		下水道課	事業期間	昭和41年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	公共下水道（汚水）未整備地区の整備を行います。
事業の目的	印旛沼をはじめとする公共用水域の水質改善が進まない中、生活環境の改善と良好な水環境を復元するため、汚水処理施設未整備地区の公共下水道（汚水）の整備を行います。
事業の効果	公共下水道未整備地区の整備を行い、下水道に接続し、使用してもらうことにより、公共用水域の水質改善に寄与し、健全な水循環と良好な生活環境の構築の効果があります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	275,440	管渠布設工事、実施設計、負担金など
平成24年度	286,134	管渠布設工事、実施設計、負担金など
平成25年度	173,270	管渠布設工事、実施設計、負担金など
平成26年度	252,898	管渠布設工事、実施設計、負担金など 佐倉南1号枝線、臼井8号枝線、志津5号枝線、志津14号幹枝線、志津22号枝線、佐倉北7号枝線（実施設計）
平成27年度	340,263	管渠布設工事、実施設計、負担金など 佐倉北7号枝線、臼井11号枝線、臼井8号枝線、臼井4号枝線、臼井9号枝線、志津14号枝線
合計	1,328,005	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
整備面積	2.4ha	2.48ha	1.75ha	5.45ha	14.12ha
整備済面積	2,718.21ha	2,720.69ha	2,722.44ha	2,727.89ha	2,742.01ha
普及率	91.5%	92.2%	92.4%	92.7%	92.9%

～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】下水道事業特別会計

施策1 生活系排水の適正処理に努めます

1款：下水道事業費 2項：下水道建設費 1目：下水道建設費

事業名	7651	汚水整備事業（寺崎区画整理汚水整備）		
担当所属		下水道課	事業期間	平成16年度～平成25年度

【実施計画の概要】

事業の内容	寺崎特定土地区画整理地内において、都市再生機構との協定に基づき、公共下水道（汚水）施設の整備を行います。
事業の目的	公共下水道を整備することにより、印旛沼をはじめとする公共用水域の水質を改善し、良好な生活環境を確保します。
事業の効果	寺崎特定土地区画整理地内の整備を行い、使用してもらうことにより、公共用水域の水質改善に寄与し、良好な生活環境を確保できます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	16,720	管渠布設工事
平成24年度	86,600	管渠布設工事
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度		
合計	103,320	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
整備面積	3.69ha	6.92a			
整備済面積	39.38ha	46.3ha			
事業進捗率	85.1%	100%			

～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】一般会計

施策1 生活系排水の適正処理に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 4目：下水道費

事業名	7863	下水道事業特別会計への繰出経費（臨時）		
担当所属		下水道課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地方公営企業繰出金について（通知）」に基づき、下水道事業特別会計における雨水整備事業に係る経費の全額を一般会計から支出します。</li> <li>・「地方公営企業繰出金について（通知）」に基づき、下水道事業特別会計における汚水の整備又は維持管理に要する費用の一部を一般会計から支出します。</li> </ul>
事業の目的	下水道事業のうち、公費で負担すべき経費を適正に繰出すことで、下水道事業の経営の健全化を促進し、経営基盤を強化します。
事業の効果	下水道事業の財源を確保し、経営基盤を強化することで、市民の生活環境の保全または改善を図ります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	444,622	下水道事業特別会計への繰出金（臨時分）
平成24年度	652,108	下水道事業特別会計への繰出金（臨時分）
平成25年度	537,350	下水道事業特別会計への繰出金（臨時分）
平成26年度	332,833	下水道事業特別会計への繰出金（臨時分）
平成27年度	297,072	下水道事業特別会計への繰出金（臨時分）
合計	2,263,985	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
繰出金額（雨分）	444,622千円	652,108千円	718,320千円	167,108千円	121,060千円
繰出金額（汚水）	300,000千円	300,000千円	300,000千円	175,725千円	176,012千円
下水道事業の財源確保	100%	100%	100%	100%	100%



～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】一般会計

施策1 生活系排水の適正処理に努めます

4款：衛生費 2項：清掃費 3目：し尿処理費

事業名	9324	合併浄化槽普及促進事業		
担当所属	生活環境課	事業期間	平成22年度～平成27年度	

## 【実施計画の概要】

事業の内容	下水道認可区域外で高度処理型合併処理浄化槽を設置する市民に、その設置費用の助成を行います。また、下水道使用可能区域以外で合併処理浄化槽の適正な維持管理を行っている市民に、その維持管理費用の一部を助成します。
事業の目的	良質な水資源の保全に努めるために、公共用水域等の水質汚濁防止を図ります。
事業の効果	良質な水資源の保全に努めるために、公共用水域等の水質汚濁防止が図られます。

## 【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	50,663	・下水道認可区域外で高度処理型合併処理浄化槽を設置者に、その設置費用の助成を行います。下水道使用可能区域以外で合併処理浄化槽の適正な維持管理を行っている市民に、その維持管理費用の一部を助成します。
平成24年度	50,663	・下水道認可区域外で高度処理型合併処理浄化槽を設置者に、その設置費用の助成を行います。下水道使用可能区域以外で合併処理浄化槽の適正な維持管理を行っている市民に、その維持管理費用の一部を助成します。
平成25年度	44,549	・下水道認可区域外で高度処理型合併処理浄化槽を設置者に、その設置費用の助成を行います。下水道使用可能区域以外で合併処理浄化槽の適正な維持管理を行っている市民に、その維持管理費用の一部を助成します。
平成26年度	44,041	・下水道認可区域外で高度処理型合併処理浄化槽を設置者に、その設置費用の助成を行います。下水道使用可能区域以外で合併処理浄化槽の適正な維持管理を行っている市民に、その維持管理費用の一部を助成します。
平成27年度	44,041	・下水道認可区域外で高度処理型合併処理浄化槽を設置者に、その設置費用の助成を行います。下水道使用可能区域以外で合併処理浄化槽の適正な維持管理を行っている市民に、その維持管理費用の一部を助成します。
合計	233,957	

## 【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
窒素除去型高度処理型合併処理浄化槽設置補助金交付基数	設置申請に対して補助する	設置申請に対して補助する	設置申請に対して補助する	設置申請に対して補助する	設置申請に対して補助する
合併浄化槽維持管理費補助金交付件数	申請に対して補助する	申請に対して補助する	申請に対して補助する	申請に対して補助する	申請に対して補助する
窒素除去型高度処理型合併処理浄化槽設置基数	補助した基数	補助した基数	補助した基数	補助した基数	補助した基数
合併浄化槽維持管理件数	補助した件数	補助した件数	補助した件数	補助した件数	補助した件数

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」～都市

基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】一般会計

施策1 生活系排水の適正処理に努めます

事業名	9325	地域排水整備事業		
担当所属	土木河川課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	市街化調整区域の既存集落においては側溝が整備されていない道路が複数あり、道路に雨水が溜まりやすい箇所や、自宅に合併処理浄化槽を設置する場合に放流先が確保できないことがあります。公共下水道の計画区域外において合併処理浄化槽の普及を図るとともに、道路排水が整備されていない地区の雨水排水を処理するため、排水施設を整備します。
事業の目的	合併処理浄化槽の処理水の放流先を兼ねた道路排水施設を整備することで、高度型合併処理浄化槽の普及を図るとともに、道路の冠水も解消することで、住民の生活環境を改善します。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街化調整区域の既存集落における住環境の改善が見込まれます。</li> <li>道路の冠水、路肩崩れ等を防止します。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	29,000	排水施設工事など
平成24年度	20,300	排水施設工事など
平成25年度	0	
平成26年度	0	
平成27年度	0	
合計	49,300	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
排水整備延長	600m	330m	—	—	—
接続可能戸数	18戸	5戸	—	—	—

～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】下水道事業特別会計

施策1 生活系排水の適正処理に努めます

1款：下水道事業費 1項：総務管理費 3目：下水道施設管理費

事業名	9326	下水道施設（污水）改修事業		
担当所属		下水道課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	佐倉市の公共下水道(污水)施設は、布設してから相当数の年月を経過していることから、管渠等の施設を延命化するため、長寿命化計画を策定します。また、長寿命化計画により、事業費の平準化を図り、大規模な改修を含めた効率的な管理を行います。
事業の目的	計画的で効率的な下水道施設の改修を行うことで、施設の延命化を図り、汚水の排水能力を確保します。
事業の効果	施設を良好な状態に改修することにより、排水能力を確保し生活排水の適正な処理ができます。また、汚水の詰りや管路の老朽化による道路陥没事故等を防止します。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	306,600	長寿命化対策基本計画策定委託料など
平成24年度	271,400	長寿命化対策計画策定委託料など
平成25年度	284,000	長寿命化対策工事など
平成26年度	381,400	委託 設計 新白井田・志津15号 調査 千成・中志津・白井田(不明水)・長寿命化対策 工事 污水管補修工事 新白井田 污水樹取付管工事 千成・中志津 鉄蓋交換工事 鏑木町 舗装復旧工事 志津1号・千成・新白井田・中志津
平成27年度	438,500	委託 設計 新白井田 調査 千成・中志津・長寿命化対策 工事 污水管補修工事 新白井田・志津15号・高崎川・白井田(不明水) 污水樹取付管工事 千成・中志津 鉄蓋交換工事 鏑木町 舗装復旧工事 新白井田・千成・中志津
合計	1,681,900	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
公共樹取付管改修件数	160箇所	160箇所	250箇所	250箇所	250箇所
下水道管渠改修	110m	325m	660m	700m	1,000m
下水道管渠調査	160箇所	160箇所	250箇所	250箇所	250箇所
下水道長寿命化計画の策定	基本計画	実施計画	—	実施設計	実施設計

～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】農業集落排水事業特別会計

1款：農業集落排水事業費 1項：施設管理費 1目：

施策1 生活系排水の適正処理に努めます

施設管理費

事業名	9327	排水施設維持管理事業		
担当所属	農政課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持並びに農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に資するものです。
事業の目的	農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持並びに農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に努めます。
事業の効果	農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持並びに農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全が図られます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	6,845	農業集落排水処理施設の維持管理
平成24年度	6,758	農業集落排水処理施設の維持管理
平成25年度	6,924	農業集落排水処理施設の維持管理
平成26年度	10,832	農業集落排水処理施設の維持管理
平成27年度	10,832	農業集落排水処理施設の維持管理
合計	42,191	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
農業集落排水接続率	100%	100%	100%	100%	100%

～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】下水道事業特別会計

施策2 雨水排水の処理施設の整備に努めます

1款：下水道事業費 1項：総務管理費 3目：下水道施設管理費

事業名	75	下水道施設（雨水）改修事業		
担当所属		下水道課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	近年のゲリラ豪雨等により、浸水による家屋等への被害を抑制するため、公共下水道施設（雨水）の大規模な改修や改良を行います。
事業の目的	雨水施設の浚渫や大規模な改修を行うことにより、十分な排水能力を確保し、豪雨等による家屋等への浸水の被害を抑制します。
事業の効果	豪雨による異常出水に伴い発生する、低地での浸水被害を軽減できます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	22,100	実施設計、雨水排水工事など
平成24年度	66,000	実施設計、フェンス改修工事など
平成25年度	2,500	水路清掃、雨水排水改修工事など
平成26年度		
平成27年度	52,000	水路改修工事 手繰川第1三号(中志津一丁目)
合計	142,600	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
改修延長	75m	65m	—	—	340m
補修・整備箇所数	4箇所	3箇所	—	—	1箇所

～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】一般会計

施策2 雨水排水の処理施設の整備に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 5目：都市排水費

事業名	188	都市下水路維持管理事業		
担当所属		下水道課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	寺崎都市下水路及び山崎都市下水路の適切な維持管理のため、定期的な草刈りを行います。
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェンス等の施設の破損を早期に発見し、破損による転落事故等を防止します。</li> <li>・周辺住民の生活環境の悪化を防止します。</li> <li>・山崎都市下水路に併設する管理道路は、小学校の通学路や京成佐倉駅への通勤路となっていることから、草刈りにより見通しを良くし、防犯性を高めます。</li> </ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草が伸びていることによる不快感を削減します。</li> <li>・児童等の通勤、通学者が安心して通行出来ます。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	1,476	委託料、維持補修工事など
平成24年度	1,476	委託料、維持補修工事など
平成25年度	1,466	委託料、維持補修工事など
平成26年度	1,476	委託料、維持補修工事など
平成27年度	1,476	委託料、維持補修工事など
合計	7,370	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
要望、苦情による現地確認	要望等による現地確認	要望等による現地確認	要望等による現地確認	要望等による現地確認	要望等による現地確認
都市下水路のパトロール	12回/年	12回/年	12回/年	12回/年	12回/年
草刈り面積	3,400㎡	3,400㎡	3,400㎡	3,400㎡	3,400㎡

～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】下水道事業特別会計

施策2 雨水排水の処理施設の整備に努めます

1款：下水道事業費 2項：下水道建設費 1目：下水道建設費

事業名	588	雨水整備事業		
担当所属		下水道課	事業期間	昭和41年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	近年のゲリラ豪雨等により発生する市街化区域での浸水被害を抑制するため、公共下水道(雨水)を整備します。
事業の目的	豪雨等により発生する浸水により、道路冠水、家屋等への被害を抑制することにより、市民の生命、財産を保護し、安心して生活できるようにします。
事業の効果	豪雨時等でも安心して生活できるようになります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	14,550	実施設計、家屋調査など
平成24年度	254,450	実施設計、家屋調査、雨水整備工事など
平成25年度	274,640	家屋調査、雨水整備工事など
平成26年度	226,310	鹿島川第1三号幹線整備工事、家屋事前事後調査、積算、補償、水道ガス切回し負担金
平成27年度	27,685	工事：鹿島川第1三号幹線舗装復旧工事 印旛沼第1一号幹線管更生工事 委託：鹿島川第2一号幹線実施設計委託 鹿島川第1三号 家屋事前事後調査、積算、補償
合計	797,635	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
整備延長	調査、設計	75m	240m	127m	68m
整備済面積	1,533.52ha	1,547.45ha	1,574.14ha	1,595.29ha	1,615.14ha
整備率	72.9%	73.5%	74.8%	75.8%	76.8%

～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】下水道事業特別会計

施策2 雨水排水の処理施設の整備に努めます

1款：下水道事業費 2項：下水道建設費 1目：下水道建設費

事業名	590	雨水整備事業（高野川・小竹川治水対策）		
担当所属		下水道課	事業期間	昭和54年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	雨水浸水の被害が多発している高野川上流（井野地区）について、流域である八千代市と佐倉市が事業費を負担し、排水路の整備を行います。
事業の目的	高野川上流である井野地区において、雨水浸水の被害により脅かされる市民の生命、住宅などの財産を保護し、安心して生活ができるようにします。
事業の効果	雨水浸水の被害等がなくなり、安心して生活を送れるようになります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	142,150	排水路整備工事、八千代市事業負担金
平成24年度	119,500	排水路整備工事、八千代市事業負担金
平成25年度	79,231	排水路整備工事 八千代市事業負担金(草刈)
平成26年度	114,398	排水路整備工事 L=125m 舗装復旧工事 A=350㎡ 水道ガス切廻し 一式 八千代市事業負担金(調整池整備事業・除草他)
平成27年度	45,875	用地測量 A=38㎡ 用地取得 A=28㎡ 家屋事後調査 12棟 家屋補償費算定 12棟 家屋補償費 12棟 除草委託 A=10,000㎡ 八千代市事業負担金(調整池整備事業)
合計	501,154	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
整備延長	80m	125m	125m	125m	調整池整備事業
整備済延長	1,599m	1,724m	125m	調整池設計	用地取得
事業進捗率	92.7%	100%	100%	調整池設計	用地取得



～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】一般会計

施策2 雨水排水の処理施設の整備に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 5目：都市排水費

事業名	7519	都市下水路改修事業		
担当所属		下水道課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	寺崎及び山崎都市下水路の臨時的な浚渫と用地内の草刈りを行います。
事業の目的	都市下水路の機能の維持管理はもとより、周辺の環境等に配慮するためにも浚渫が必要となります。
事業の効果	浚渫により、流下能力を確保し周辺区域の浸水被害等を軽減できる。また、周辺の環境(防臭・防虫等)にも効果がある。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	0	
平成24年度	3,300	浚渫、清掃、草刈りなど
平成25年度	8,800	浚渫、清掃、草刈りなど
平成26年度	8,800	寺崎都市下水路防草工事(大崎台四丁目) 山崎都市下水路フェンス改修工事(飯田)
平成27年度	8,800	寺崎都市下水路防草工事(大崎台四丁目) 山崎都市下水路フェンス改修工事(飯田)
合計	29,700	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
浚渫	0箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
パトロールの実施	12回/年	12回/年	12回/年	12回/年	12回/年
排水能力の確保	100%	100%	100%	100%	100%

～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】下水道事業特別会計

施策2 雨水排水の処理施設の整備に努めます

1款：下水道事業費 2項：下水道建設費 1目：下水道建設費

事業名	7653	雨水整備事業（寺崎土地区画整理雨水整備）		
担当所属		下水道課	事業期間	平成16年度～平成25年度

【実施計画の概要】

事業の内容	寺崎特定土地区画整理地内の公共下水道（雨水）の面整備を行います。
事業の目的	市街地における雨水を排除する下水道で、浸水防止を目的として未整備地区の公共下水道（雨水）の整備を行う。
事業の効果	寺崎土地区画整理地内の整備を行い、雨水を排除することにより浸水被害の防止、軽減に役立っている。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	14,273	雨水施設整備の委託
平成24年度	159,500	雨水施設整備の委託
平成25年度	163,500	雨水施設整備の委託
平成26年度		
平成27年度		
合計	337,273	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
整備延長	375m	3,912m	2,798m ポンプ設備	—	—
整備済面積	32.93ha	46.3ha	46.3ha ポンプ設備	—	—
事業進捗率	71.1%	100%	100%	—	—

事業名	7708	都市下水路整備事業		
担当所属		下水道課	事業期間	昭和40年度～平成25年度

【実施計画の概要】

事業の内容	寺崎南部調整池から高崎川までの寺崎都市下水路のうち、未整備部分である都市下水路の改修及び侵入防止用のネットフェンスを整備します。
事業の目的	寺崎区における雨水を排除し浸水防止を目的として整備を行います。
事業の効果	都市下水路の整備を行い、雨水を排除することにより浸水被害の防止、軽減に寄与します。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	19,000	都市下水路改修工事
平成24年度	13,000	ネットフェンス設置工事、舗装復旧工事
平成25年度	8,750	ネットフェンス設置工事
平成26年度		
平成27年度		
合計	40,750	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
整備延長	28m	100m	350m	—	—
整備済延長	28m	128m	478m	—	—
都市下水路整備事業の整備率	5.9%	26.8%	100%	—	—

基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】一般会計

施策2 雨水排水の処理施設の整備に努めます

7款：土木費 2項：道路橋梁費 5目：排水路整備費

事業名	9310	排水路維持管理事業		
担当所属	土木河川課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	公団上で青道になっている法定外公共財産(排水路)は市内に無数に存在しており、施設の老朽化や堆積物による流下能力の低下による溢水、雑草の繁茂などに関する改善要望等が多数寄せられます。排水路の機能を確保するために補修、軽度の浚渫を行うとともに、環境美化のため水路用地の除草を行います。
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水路の治水機能を確保します。</li> <li>・排水路用地の美化に努めます。</li> </ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水被害を防止します。</li> <li>・周辺住民等に不快感を与えないようにします。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	18,690	水路の軽度の補修工事や浚渫、水路用地の除草委託、補修材料購入など
平成24年度	18,590	水路の軽度の補修工事や浚渫、水路用地の除草委託、補修材料購入など
平成25年度	18,480	水路の軽度の補修工事や浚渫、水路用地の除草委託、補修材料購入など
平成26年度	19,136	水路の軽度の補修工事や浚渫、水路用地の除草委託、補修材料購入など
平成27年度	19,136	水路の軽度の補修工事や浚渫、水路用地の除草委託、補修材料購入など
合計	94,032	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
補修工事等件数	40件	40件	40件	40件	40件

基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】一般会計

施策2 雨水排水の処理施設の整備に努めます

7款：土木費 2項：道路橋梁費 5目：排水路整備費

事業名	9311	排水路整備事業		
担当所属	土木河川課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	公団上で青道になっている法定外公共財産(排水路)について、未整備や老朽化、流下能力不足などに起因する浸水被害を防止するため、主に市街化調整区域の排水路の整備、改修等を行います。
事業の目的	排水路の新設や改修等を行うことにより、雨水の排水機能を確保して、浸水被害を防止します。
事業の効果	田畑への溢水、住宅敷地内への排水流入、道路冠水等を防止して、周辺住民の被害や生活環境を改善します。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	3,200	大蛇町排水路用地購入
平成24年度	45,000	・工事 排水路整備：大蛇町、馬渡地区、大佐倉 ・委託 設計：大佐倉駅南側
平成25年度	269,900	・工事 排水路整備：大佐倉駅南側、飯野地区、馬渡地区、 ・委託 設計：畔田、飯重、ユーカーリが丘地先
平成26年度	49,250	・工事 転落防止柵：青菅地先 排水路整備：飯田地先、上志津原地先 ・委託 設計：寒風地先
平成27年度	26,500	・工事 排水路整備：寒風地先 ・委託 調査：ユーカーリが丘地先排水路
合計	220,950	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
整備延長	0m	350m	735m	270m	250m
5ヶ年整備改修率	—	21.2%	65.8%	82.1%	100.0%

基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】一般会計

施策2 雨水排水の処理施設の整備に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 5目：都市排水費

事業名	9328	都市排水路維持管理事業		
担当所属	土木河川課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	過去に浸水被害が頻発したJR佐倉駅周辺や上志津地先では、雨量が多い時にはポンプ施設により強制的に河川や水路に雨水を放流しています。このような内水排除ポンプ施設の保守点検等を行います。
事業の目的	定期的に保守点検、動作確認作業等を行うことで、非常時の作動を確実にします。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水被害をなくし、周辺住民の安全安心を確保します。</li> <li>・道路冠水を防止し、車両、歩行者等の通行を確保します。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	8,805	高崎川右岸左岸、東急上志津団地のポンプ施設に関する電気料、通信料、管理委託費、付随施設の保守点検費など
平成24年度	8,805	高崎川右岸左岸、東急上志津団地のポンプ施設に関する電気料、通信料、管理委託費、付随施設の保守点検費など
平成25年度	8,805	高崎川右岸左岸、東急上志津団地のポンプ施設に関する電気料、通信料、管理委託費、付随施設の保守点検費など
平成26年度	9,132	高崎川右岸左岸、東急上志津団地のポンプ施設に関する電気料、通信料、管理委託費など
平成27年度	9,132	高崎川右岸左岸、東急上志津団地のポンプ施設に関する電気料、通信料、管理委託費など
合計	44,679	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
ポンプ施設点検回数	15回	15回	15回	15回	15回
施設の不具合による浸水被害の発生件数	0件	0件	0件	0件	0件

基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】一般会計

施策2 雨水排水の処理施設の整備に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 5目：都市排水費

事業名	9329	都市排水路改修事業		
担当所属	土木河川課	事業期間	平成23年度～平成29年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	J R佐倉駅周辺などで浸水被害を防止するために設置されている内水排除ポンプ施設について、施設の新設や大規模な改修工事を実施します。
事業の目的	現在、千葉県により進められている高崎川の改修事業に伴い、支障となるポンプ施設等の移設を行います。また、水位計やポンプ本体など、老朽化した部品の交換を行います。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浸水被害を無くし、周辺住民の安全安心を確保します。</li> <li>・ 道路冠水を防止し、車両、歩行者等の往来を確保します。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度		
平成24年度		
平成25年度	3,000	投込圧力式水位計交換(2箇所)
平成26年度	53,240	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事 ポンプ移設：表町区民センター前排水ポンプ場</li> <li>水位計交換：高崎川南公園前排水ポンプ場、法務局前排水ポンプ場</li> <li>施設整備：表町4丁目排水ポンプ</li> </ul>
平成27年度	79,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事 ポンプ移設：表町区民センター前仮設ポンプ</li> <li>水位計交換：樋ノ口橋排水ポンプ場(ポンプ用、ゲート用)</li> <li>ポンプ交換：樋ノ口橋排水ポンプ場(No.1号ポンプ)</li> </ul>
合計	136,040	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
移 設 工 事 件 数	—	—	0件	1件	1件
移 設 完 了 件 数	—	—	—	1件	1件
水 位 計 交 換 件 数	—	1件	2件	2件	2件
ポ ン プ 交 換 件 数				0件	1件

～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】下水道事業特別会計

施策2 雨水排水の処理施設の整備に努めます

1款：下水道事業費 1項：総務管理費 3目：下水道施設管理費

事業名	9330	下水道施設（雨水）維持管理事業		
担当所属		下水道課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	公共下水道施設(雨水)の定期的な草刈り等の維持管理を行います。
事業の目的	施設の機能確保と良好な周辺環境を維持するために定期的に草刈り等が必要となります。
事業の効果	草刈りにより、周辺の環境維持を保つことにつながります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	15,583	旅費、委託料、維持補修工事など
平成24年度	15,571	旅費、委託料、維持補修工事など
平成25年度	15,583	旅費、委託料、維持補修工事など
平成26年度	15,583	委託料、維持補修工事など
平成27年度	15,583	委託料、維持補修工事など
合計	77,903	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
草刈り面積	57,400 m <sup>2</sup>	57,400 m <sup>2</sup>	57,400 m <sup>2</sup>	57,400 m <sup>2</sup>	57,400 m <sup>2</sup>
排水施設の破損等の対応	25箇所	25箇所	25箇所	25箇所	25箇所



～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】下水道事業特別会計

施策3 水洗化の促進と安定経営に努めます

1款：下水道事業費 1項：総務管理費 2目：賦課徴収費

事業名	72	受益者負担金及び分担金徴収事業		
担当所属		下水道課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	下水道使用者から使用開始時に受益者負担金又は受益者分担金を徴収します。
事業の目的	下水道事業の促進に伴い、平等性を確保するとともに必要な財源を確保します。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事業の財源が確保されます。</li> <li>・受益者の負担が明確となり、平等性が確保されます。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	285	負担金、分担金の徴収
平成24年度	285	負担金、分担金の徴収
平成25年度	285	負担金、分担金の徴収
平成26年度	285	負担金、分担金の徴収
平成27年度	285	負担金、分担金の徴収
合計	1,425	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
徴収率	100%	100%	100%	100%	100%
下水道事業の財源確保	100%	100%	100%	100%	100%

～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】下水道事業特別会計

施策3 水洗化の促進と安定経営に努めます

1款：下水道事業費 1項：総務管理費 1目：一般管理費

事業名	581	下水道普及促進事業		
担当所属		下水道課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	下水道未接続世帯への啓発活動を、毎年500件を目標に実施します。
事業の目的	水洗化率を向上し、下水道事業の効果促進を図ります。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印旛沼の水質汚濁を防止します。</li> <li>・市民の生活環境を改善します。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	821	負担金及び補助金、システムサポートなど
平成24年度	442	負担金及び補助金、システムサポートなど
平成25年度	457	水洗便所改造資金助成金及び奨励金など
平成26年度	526	水洗便所改造資金助成金及び奨励金など
平成27年度	526	水洗便所改造資金助成金及び奨励金など
合計	2,772	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
啓 発 件 数	500件	500件	500件	500件	500件
水 洗 化 率	96.5%	96.7%	96.8%	96.9%	97.0%

～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】下水道事業特別会計

施策3 水洗化の促進と安定経営に努めます

1款：下水道事業費 1項：総務管理費 2目：賦課徴収費

事業名	587	下水道使用料徴収事業		
担当所属		下水道課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事業を適正に管理運営するための財源として、下水道使用者から使用料を徴収します。</li> <li>・下水道使用料徴収事務を佐倉市水道事業管理者に委任します。</li> </ul>
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事業の管理運営に必要な財源を確保します。</li> <li>・下水道使用料徴収事務を水道事業管理者に委託することで、事務の効率化、経費の削減を図ります。</li> <li>・水道事業管理者と協力し徴収率の向上を図ります。</li> </ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事業の管理運営に必要な財源を確保し、経営基盤を強化します。</li> <li>・下水道事業を推進し、市民の生活環境の保全、改善を図ります。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	96,505	下水道使用料徴収事務委託料など
平成24年度	75,776	下水道使用料徴収事務委託料など
平成25年度	76,892	下水道使用料徴収事務委託料など
平成26年度	77,439	下水道使用料徴収事務委託料など
平成27年度	78,263	下水道使用料徴収事務委託料など
合計	404,875	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
徴収率	99%	99%	99%	99%	99%
下水道使用料調定件数(現年度分)	376,430件	380,430件	384,430件	388,430件	392,430件
下水道事業の財源確保	100%	100%	100%	100%	100%

～都市基盤整備の充実～

基本施策5 生活環境の改善を推進するまちにします

【会計】下水道事業特別会計

施策3 水洗化の促進と安定経営に努めます

1款：下水道事業費 1項：総務管理費 1目：一般管理費

事業名	7440	下水道事業法適化移行事業		
担当所属		下水道課	事業期間	平成23年度～平成25年度

【実施計画の概要】

事業の内容	平成26年度を目標に下水道事業に地方公営企業法の適用をし、企業会計の導入を行うため、平成23年度から平成25年度にかけて準備作業を行います。
事業の目的	近年下水道事業においては、老朽化した管渠等の改築や延命化といった新たな建設需要が発生する一方で、少子高齢化、生活様式の変化等のため、使用料の伸び悩みといった現象がみられ、今後下水道事業を継続していくためには、より効率的な事業経営を行っていく必要に迫られています。長期的な視野に立った経営に努めるため、平成26年度より地方公営企業法の適用をし、企業会計を導入します。
事業の効果	地方公営企業法の適用により、企業会計方式で経理がより計画的・効率的な経営が行われます。メリットとしては主に次のことがあげられます。 (1) 経営実態の明確化 (2) 使用料適正化のための客観的基礎資料作成 (3) 経営健全化の向上

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	40,285	固定資産調査、システム構築、雨水台帳作成などの委託料
平成24年度	66,538	固定資産調査などの委託料
平成25年度	16,718	固定資産調査などの委託料
平成26年度		
平成27年度		
合計	123,541	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
固定資産調査及び評価業務	基礎資料作成	資産調査・評価	資産額・負債額の決定	—	—
企業会計導入に係るシステム構築業務	システム構成検討	システム開発着手	開発・セットアップ	—	—
下水道台帳データ作成業務	図形データ	属性データ	移行期間中のデータ追加	—	—
基本計画の策定	基本計画の策定	—	—	—	—

移行に伴う外部との折衝状況	必要により 実施する	必要により 実施する	必要により 実施する	—	—
移行に必要となる事務手続き状況	必要により 実施する	必要により 実施する	必要により 実施する	—	—
移行スケジュール進捗率	33%	66%	100%	—	—
システム進捗率	6%	56%	100%	—	—
固定資産調査及び評価事務進捗状況	45%	87%	100%	—	—

～都市基盤整備の充実～

基本施策6 花とみどりのまちにします

【会計】一般会計

施策1 身近な憩いの場の創出に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 6目：公園費

事業名	73	岩名運動公園拡張整備事業		
担当所属		公園緑地課	事業期間	平成17年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	岩名運動公園のスポーツ施設等の大規模改修や整備を行います。 ・サッカー・ラグビー兼用多目的球技場 ・長嶋記念球場
事業の目的	・市民が気軽に運動に親しむことのできる場、スポーツを通じた交流の場を整備することにより、誰もが生涯にわたって体を動かす楽しみを感じることのできる環境の形成を目指します。 ・施設が不足している現状を改善し、スポーツを通じた地域コミュニティの形成や世代間交流が促進される場の創出を目指します。
事業の効果	・誰もがいつでも安心して利用できる施設の整備を通じ、多様化する市民の需要を満たしつつ、健康づくりや青少年の心身育成に資する場、市民生活に潤いや安らぎをもたらす身近な憩いの場の創出を図ります。 ・近隣市町村団体等との交流大会を開催できる規模の施設を整備することで、スポーツを通じた市民交流が促進される場の創出を図ります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	85,832	敷地造成工事など
平成24年度	238,440	グラウンド舗装、防球ネット設置工事など
平成25年度	134,000	グラウンド表層舗装、ゴール等備品購入など
平成26年度	89,270	道路台帳作成、道路区域線図作成、園路補修工事 岩名球技場完成記念大会 長嶋記念球場 基本・実施設計 調査
平成27年度	386,777	長嶋記念球場 大規模改修
合計	934,319	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
施工面積等	グラウンド整備 A=11,300㎡	防球ネット L=450m	グラウンド舗装 A=11,300㎡	道路台帳作成 L=450m	長嶋記念球場
市民一人当たりの公園面積	8.39㎡/人	8.43㎡/人	8.43㎡/人	8.45㎡/人	8.55㎡/人

～都市基盤整備の充実～

基本施策6 花とみどりのまちにします

【会計】一般会計

施策1 身近な憩いの場の創出に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 6目：公園費

事業名	290	公園施設維持管理事業		
担当所属	公園緑地課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	公園利用者が快適に公園を利用できるように、除草、清掃、トイレ清掃など適切な維持管理を行います。 また、安全で、かつ安心して利用できるよう遊具や施設の点検を行い、必要に応じて修繕や補修工事を行います。
事業の目的	市民が安全でかつ安心して、さらに快適に利用できるよう適切な維持管理を行います。
事業の効果	身近な公共空間としての公園を、市民の憩いの場、スポーツやレクリエーション、コミュニティ活動の場として提供するとともに、花や緑など自然に親しむ機会を提供しました。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	338,780	公園管理委託料、公園維持補修工事など
平成24年度	328,045	公園管理委託料、公園維持補修工事など
平成25年度	312,714	公園管理委託料、公園維持補修工事など
平成26年度	334,436	公園管理委託料、公園維持補修工事など
平成27年度	334,436	公園管理委託料、公園維持補修工事など
合計	1,648,411	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
公園管理箇所数	280箇所	285箇所	286箇所	292箇所	292箇所
公園の苦情・要望に対する現場確認	100%	100%	100%	100%	100%

～都市基盤整備の充実～

基本施策6 花とみどりのまちにします

【会計】一般会計

施策1 身近な憩いの場の創出に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 6目：公園費

事業名	291	(仮称) 佐倉西部自然公園整備事業		
担当所属		公園緑地課	事業期間	平成18年度～平成41年度

【実施計画の概要】

事業の内容	(仮称)佐倉西部自然公園整備基本計画では、公園予定区域を4つのゾーンに分け、各々のエリアの特色を活かした整備を行うとしています。整備基本計画に基づく各ゾーンの個別計画においても、その特色を充分考慮したうえで詳細計画を策定し、整備を図ります。地権者を含む地域の方々をはじめ、近接公的機関や市民の協力により、個別詳細計画や将来的な維持管理の協力体制を検討します。また、個別計画の前提として必要となる用地の整理―道路や水路等の公共用地の境界確定を行います。さらに、個別計画の進捗状況にあわせ、散策路・トイレ等の施設整備を行います。
事業の目的	(仮称)佐倉西部自然公園整備基本計画に基づき、市民意見を反映しつつ、里山・谷津の景観を保全・再生することで、身近な自然環境にふれ合う機会や、自然から学ぶ機会の創出を図ります。また、里山自然環境を適切に維持保全することで、都市と農村との交流を図り、身近なふるさとの文化の継承を図ります。
事業の効果	谷津田と斜面林が一体として残された里山自然環境を保全することで、手繰川・上手繰川の自然環境を借景として、身近な市民の憩いの場を創出することができます。また、保全のための方策として、市民の理解と協力を得ながら公園化を図り、望ましい維持管理を行いながら次世代に貴重な資産として里山自然環境を継承することが可能となります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	6,000	境界確定業務
平成24年度	3,400	境界確定業務
平成25年度	6,000	道路等境界確定
平成26年度	6,163	道路等境界確定、土地改良賦課金
平成27年度	6,163	道路等境界確定、土地改良賦課金
合計	27,726	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
個別計画検討会議の開催回数	年2回以上	年2回以上	年2回以上	年2回以上	年2回以上
維持管理ボランティア団体数	2団体	1団体	1団体	1団体	1団体
(仮称)佐倉西部自然公園内の公共用地の測量実施延長	1.29km	1.25km	1.25km	1.25km	1.25km
市民一人当たりの公園面積	8.39 m <sup>2</sup> /人	8.43 m <sup>2</sup> /人	8.43 m <sup>2</sup> /人	8.45 m <sup>2</sup> /人	8.55 m <sup>2</sup> /人



～都市基盤整備の充実～

基本施策6 花とみどりのまちにします

【会計】一般会計

施策1 身近な憩いの場の創出に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 6目：公園費

事業名	403	グリーンリサイクル事業		
担当所属		公園緑地課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	公園、緑地、街路樹の維持管理から発生する剪定枝、刈り草をチップ化し、リサイクルを図っていきます。
事業の目的	公園、緑地等から発生する剪定枝、刈草等は焼却処分することによる環境への影響を考慮し、これらをチップ化し、チップ材を公園、緑地等に敷くことにより雑草の抑制、樹木の育成等に活用し、リサイクルを図ります。
事業の効果	雑草の抑制効果もあるチップ材を活用することにより、草本類の初期生長を緩やかにし、木本来の生長を促すことができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	30,000	樹木チップ化委託料
平成24年度	30,000	樹木チップ化委託料
平成25年度	28,667	樹木チップ化委託料 ・ 樹木チップ化業務委託 ・ チップ化作業場搬入管理業務委託
平成26年度	29,339	樹木チップ化委託料 ・ 樹木チップ化業務委託 ・ チップ化作業場搬入管理業務委託
平成27年度	29,339	樹木チップ化委託料 ・ 樹木チップ化業務委託 ・ チップ化作業場搬入管理業務委託
合計	147,345	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
チップ化する量	4,900 m <sup>3</sup>	4,900 m <sup>3</sup>	4,700 m <sup>3</sup>	4,600 m <sup>3</sup>	4,600 m <sup>3</sup>
チップのリサイクル率	100%	100%	100%	100%	100%

～都市基盤整備の充実～

基本施策6 花とみどりのまちにします

【会計】一般会計

施策1 身近な憩いの場の創出に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 7目：緑化事業費

事業名	585	街路樹維持管理事業		
担当所属	公園緑地課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	良好な市街地環境の形成を図るため、道路の植樹帯の除草、清掃、街路樹の剪定等、年間を通じた適切な街路樹等の維持管理を行います。
事業の目的	年間を通じた、除草、清掃、剪定等を適切な維持管理を行うことにより、日照・通風の確保や、落ち葉による清掃の軽減、交通標識の服蓋(ふくがい)を予防するとともに、うるおいのある都市景観の形成を図ります。
事業の効果	街路樹を適切に管理することにより、市街地の景観形成が図られるとともに、車の排気ガスの浄化や交通騒音の軽減、歩行者の安全確保が図られます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	63,022	街路樹の維持管理
平成24年度	62,897	街路樹の維持管理
平成25年度	76,251	街路樹の維持管理 ・街路樹維持管理委託料(市内街路樹の年間管理) ・街路樹剪定業務委託
平成26年度	80,362	街路樹の維持管理 ・街路樹維持管理委託料(市内街路樹の年間管理) ・街路樹剪定業務委託
平成27年度	80,362	街路樹の維持管理 ・街路樹維持管理委託料(市内街路樹の年間管理) ・街路樹剪定業務委託
合計	362,894	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
街路樹管理路線数	223路線	226路線	226路線	226路線	226路線
街路樹管理延長	—	69km	69km	69km	69km
街路樹の苦情・要望に対する現場確認率	100%	100%	100%	100%	100%

～都市基盤整備の充実～

基本施策6 花とみどりのまちにします

【会計】一般会計

施策1 身近な憩いの場の創出に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 7目：緑化事業費

事業名	586	緑地維持管理事業		
担当所属		公園緑地課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	良好な緑地の管理として、草刈り、清掃、樹木の剪定、枯木の伐採等を行い、緑地の保全を図る。また、緑地の補植等を行い再生に努めます。
事業の目的	緑地の保全により大気浄化、温度調節及び住環境保全機能等が図られ、また、自然景観の形成により市民にうるおいやすらぎを提供します。
事業の効果	緑を守り緑豊かな都市環境を保全することにより、大気浄化、温暖化の抑制が図られるとともに、自然景観の形成により市民にうるおいやすらぎを提供します。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	38,319	緑地管理委託料など
平成24年度	38,291	緑地管理委託料など
平成25年度	34,591	緑地管理委託料 ・緑地管理委託料(さくら庭園を除く緑地の管理、倒木伐採等) ・さくら庭園・鏑木緑地管理委託料など
平成26年度	37,817	緑地管理委託料 ・緑地管理委託料(さくら庭園を除く緑地の管理、倒木伐採等) ・さくら庭園・鏑木緑地管理委託料など
平成27年度	37,817	緑地管理委託料 ・緑地管理委託料(さくら庭園を除く緑地の管理、倒木伐採等) ・さくら庭園・鏑木緑地管理委託料など
合計	186,835	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
緑地管理の箇所数	103箇所	103箇所	111箇所	111箇所	111箇所
緑地の苦情・要望に対する現場確認率	100%	100%	100%	100%	100%

～都市基盤整備の充実～

基本施策6 花とみどりのまちにします

【会計】一般会計

施策1 身近な憩いの場の創出に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 6目：公園費

事業名	7790	公園整備事業		
担当所属		公園緑地課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	上座総合公園や佐倉城址公園など、大きな施設のある公園を中心として、老朽化している公園施設のうち、危険性の高い施設の改修や補修を効率的に進めます。また、市民の多様な活動への一助となるよう、公園施設を整備します。
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園利用者のニーズに対応したサービス（スポーツ・余暇活動拠点、都市防災拠点、地域振興拠点等）を提供します。</li> <li>安心して安全に利用できる快適な公園施設を提供します。</li> </ul>
事業の効果	公園は、良好な都市環境を形成するのみならず、子供から高齢者までの幅広い年齢層の自然とのふれあい、レクリエーション活動、健康運動、文化活動等多様な活動の拠点となっています。整備によって、身近な憩いの場として人びとが集い、安心して多様な活動を行うことのできる場の創出と保持が可能となります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	33,876	用地買収、駐車場整備工事、プールろ過装置補修など
平成24年度	11,025	プール配水管改修、スポーツ資料館屋根改修など
平成25年度	100,681	岩名運動公園陸上競技場改修工事 岩名運動公園スポーツ資料館屋根補修工事
平成26年度	29,242	宮小路町市営住宅跡地等整備事業 宿内公園トイレ整備事業 城址公園整備事業
平成27年度	10,504	城址公園整備事業 加賀清水公園整備事業
合計	185,328	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
整備箇所数	3箇所	3箇所	2箇所	3箇所	3箇所
佐倉市の都市施設(公園等)が良好と感じる市民の割合	31.1%	35%	35%	35%	35%

～都市基盤整備の充実～

基本施策 6 花とみどりのまちにします

【会計】一般会計

施策 1 身近な憩いの場の創出に努めます

7款:土木費 3項:都市計画費 6目:公園費

事業名	9331	緊急雇用創出事業〔(仮称)佐倉西部自然公園区域内山林整備事業〕		
担当所属	公園緑地課	事業期間	平成21年度～平成24年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者を対象に、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する緊急雇用対策事業を活用し、(仮称)佐倉西部自然公園内の草刈りや間伐等、基礎的な維持管理を行います。
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離職を余儀なくされた失業者の生活の安定を図ります。</li> <li>・ (仮称)佐倉西部自然公園内用地の里山景観の復元を図ります。</li> </ul>
事業の効果	失業者を雇用し、散策路の整備、草刈りや竹の間伐等の基礎的な維持・管理を行うことで、耕作放棄されている用地の荒廃に歯止めをかけ、里山景観を一部復元し、(仮称)佐倉西部自然公園整備基本計画に基づく整備の進捗を図ります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	30,156	草刈り業務など
平成24年度	30,450	草刈り業務など
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度		
合計	60,606	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
整備面積	21.1ha	10ha	—	—	—
雇用機会の提供	10人	5人	—	—	—

～都市基盤整備の充実～

基本施策6 花とみどりのまちにします

【会計】一般会計

施策1 身近な憩いの場の創出に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 6目：公園費

事業名	9332	緊急雇用創出事業〔市内斜面林整備事業〕		
担当所属	公園緑地課	事業期間	平成22年度～平成24年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者について、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する緊急雇用対策事業を活用し、佐倉城址公園、宿内公園、西御門緑地及び明神台広場の斜面林等を整備し、斜面林の安定化を図るとともに、市民に親しまれる場とするものです。
事業の目的	・ 離職を余儀なくされた失業者の生活の安定を図ります。 ・ 竹等の繁茂により荒廃している斜面林について、緊急雇用対策事業により、竹等の間伐等を行い、景観の回復を図ります。
事業の効果	失業者を雇用し、佐倉城址公園、宿内公園、西御門緑地及び明神台広場の斜面林の草刈り、竹の間伐を行うことで斜面林が整備され、景観の向上及び安定化を図ります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	24,885	竹、樹木などの間伐など
平成24年度	14,679	竹、樹木などの間伐など
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度		
合計	39,564	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
斜面林整備箇所数	5箇所	4箇所	—	—	—
雇用機会を提供した人数	8人	7人	—	—	—
斜面林整備面積	56,000 m <sup>2</sup>	35,000 m <sup>2</sup>	—	—	—

～都市基盤整備の充実～

基本施策6 花とみどりのまちにします

【会計】一般会計

施策1 身近な憩いの場の創出に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 7目：緑化事業費

事業名	9333	緑地整備事業		
担当所属	公園緑地課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	緑地の機能保全を図ります。また、緑地の適正な配置を考慮し、地域の実情に沿った有効的な土地利用を図ります。
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の空間の適正な配置により、オープンスペースとしての機能の効果を高めます。</li> <li>・斜面緑地の巡回監視に努め、緑地の機能保持を図ります。</li> <li>・斜面緑地等の適正な配置と土地利用を図り、将来的な土地の有効活用につなげます。</li> </ul>
事業の効果	緑の空間は、潤いある景観を形成するとともに、気候の調整機能、延焼防止等による防災機能、多様な生物を育む場としての機能など、多様な役割を担っています。さらには四季の変化を通じて市民の心に安らぎを与え、地域文化形成の一助となるなど、市民生活に豊かな彩りを与える存在でもあります。佐倉市の実情に応じた適正な配置と維持保全により、緑をとりまく地域環境に対する市民の関心を高め、緑の郷土に対する愛着心の向上を図ることができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	0	
平成24年度	0	
平成25年度	3,100	志津自然園保全緑地用地購入事業
平成26年度	660,868	志津自然園保全緑地用地購入事業
平成27年度	0	
合計	663,968	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
巡回パトロール数	12回以上	12回	12回	12回	12回
整備箇所数	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策6 花とみどりのまちにします

【会計】一般会計

施策1 身近な憩いの場の創出に努めます

事業名	9334	都市公園施設長寿命化計画策定事業		
担当所属	公園緑地課	事業期間	平成24年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具に代表される公園施設を点検し、安全性に問題のある施設は速やかに補修します。</li> <li>・台帳の整理・確認を行い、日常の維持管理で補修・改善できない可能性のある公園施設を抽出します。</li> <li>・建築物などの大規模施設のうち、多額の改修費を要する可能性がある施設を抽出します。</li> <li>・公園・緑地などに設置された施設を適切に維持管理し続けるための方策を検討します。</li> </ul>
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理により、公園施設の経年劣化を把握し、安全性が確認できない施設については迅速に補修等の措置を行います。</li> <li>・維持管理や改修にかかる費用の把握により、将来的に備え、佐倉市の財政状況に関わらず公園施設の維持管理を図ります。</li> </ul>
事業の効果	<p>子どもをはじめ、誰もが安心して安全に利用できる公園施設を維持管理することで、市民の身近な憩いの場を快適な状態で提供することが可能となります。また、緊急度や必要性を考慮した、計画的な補修・改修を図ることが可能となります。</p>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	0	
平成24年度	9,947	公園機能適正度調査などの委託料
平成25年度	0	
平成26年度	0	
平成27年度	0	
合計	9,947	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
都市公園数	324箇所	324箇所	—	—	—
対象公園数	19箇所	19箇所	—	—	—



～都市基盤整備の充実～

基本施策6 花とみどりのまちにします

【会計】一般会計

施策1 身近な憩いの場の創出に努めます

7款：土木費 3項：都市計画費 6目：公園費

事業名	9753	下志津・畔田里山保全事業		
担当所属		公園緑地課	事業期間	平成25年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	里山の自然環境は、古来、日々の農林業の営みによって維持されてきたものであるため、耕作放棄の状態が継続するにつれ、その復元には困難が伴います。そのため、竹木の間伐や下草刈りなどの基礎的な維持管理を通じ、里山景観の復元を図り、市民の身近な憩いの場としての機能保全を図ります。
事業の目的	里山・谷津の景観を再生・保全することにより、自然に触れ合う機会や、自然を通じて学ぶことのできる機会の創出を図ります。また、里山自然環境を適切に維持保全することで、都市と農村との交流や、身近なふるさとの文化の継承を図ります。
事業の効果	谷津田と斜面林が一体として残された里山自然環境の荒廃に歯止めをかけ、昔ながらの景観を再生・保全することで、市民に対し、身近な憩いの場、自然とふれあえる場を提供します。また、次世代に対し、貴重な資産として里山自然環境を継承することが可能となります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	0	
平成24年度	0	
平成25年度	12,411	平地除草・下草刈り、巡回管理
平成26年度	6,930	除草、巡回管理
平成27年度	6,930	除草、巡回管理
合計	26,271	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
維持管理ボランティア団体数	—	—	1団体	1団体	1団体
里山自然環境維持面積	—	—	48.2ha	48.2ha	48.2ha

～都市基盤整備の充実～

基本施策6 花とみどりのまちにします

【会計】一般会計

施策2 花とみどりのまちを推進します

7款：土木費 3項：都市計画費 7目：緑化事業費

事業名	189	緑と花づくり事業		
担当所属		公園緑地課	事業期間	平成23年度～平成27年度

【実施計画の概要】

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種苗配布登録団体に花苗を配布します。</li> <li>・市内小学生によるチューリップ植え付け事業、チューリップ図画作文コンクール、花づくりに関する講習会、市民・地域参加のコンクール等を実施します。</li> </ul>
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい緑豊かな景観づくりと住みよいまちづくりに向けて、積極的な緑化活動を支援します。</li> <li>・身近な自然に親しめる憩いの場として、市内に残っている市有地等の保全を図り、保存樹等の良好な維持管理に努めるとともに、動植物の生息・生育環境を大切にすることによって、自然と人の共生する快適な生活環境を実現します。</li> </ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花や緑を身近に感じられる快適なまちづくりとして、緑化を促進します。</li> <li>・市民、行政が一体となって市内の緑化推進を図ります。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	11,396	緑化用種苗生産委託料、チューリップ植え付け事業など
平成24年度	11,068	緑化用種苗生産委託料、チューリップ植え付け事業など
平成25年度	11,068	緑化用種苗生産委託料、チューリップ植え付け事業など
平成26年度	10,907	緑化用種苗生産委託料、チューリップ植え付け事業など
平成27年度	10,907	緑化用種苗生産委託料、チューリップ植え付け事業など
合計	57,346	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
種苗生産量	120,000 苗数	120,000 苗数	120,000 苗数	120,000 苗数	120,000 苗数
種苗配布数(配布団体数)	120,000 苗 (126 団体)	120,000 苗 (126 団体)	120,000 苗 (126 団体)	120,000 苗 (126 団体)	120,000 苗 (126 団体)
球根購入数	70,000 球	80,000 球	85,000 球	85,000 球	90,000 球
球根植付数	70,000 球	80,000 球	85,000 球	85,000 球	90,000 球
コンクール等の開催事業	6 件	6 件	7 件	7 件	5 件
緑化保全事業(名木古木事業)	97 件	98 件	98 件	98 件	98 件
緑化保全事業(借地公園)	4 件	4 件	4 件	4 件	4 件

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

基本施策6 花とみどりのまちにします

施策2 花とみどりのまちを推進します

事業名	10497	緊急雇用創出事業〔花苗生産事業〕		
担当所属		公園緑地課	事業期間	平成25年度

【実施計画の概要】

事業の内容	市所有の農場を再整備し、整備後、花の苗木を生産します。生産した苗は、公共団体及び従前より配布している団体並びに公共的施設に植栽していただける団体に配布し、緑化に努めます。
事業の目的	花や緑を身近に感じられる快適なまちづくりとして、市民と行政が一体となって市内の緑化推進を図るため、春は、マリーゴールド、秋は、パンジー・ビオラを配布し、公共的施設に植栽をしています。年々、配布団体が増加している状況の中では配布個数を減少して配布している状況です。現在、市所有の花の農場を再整備し、花苗を生産し配布団体の希望に沿うことが可能になり、更に公共的施設に植栽する団体の増加を図ります。
事業の効果	市が所有している花の農場を再整備することで、花苗を生産し、配布団体の希望に沿うことが可能になり、更に公共的施設に植栽していただける団体の増加を図り、市内の緑化推進活動に繋がります。また、次年度からは、花の銀行等の団体による花苗の生産に繋げていくことができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	0	
平成24年度	0	
平成25年度	21,311	市所有の農場を再整備し、整備後、花の苗木を生産します。生産した苗は、公共団体及び従前より配布している団体並びに公共的施設に植栽していただける団体に配布し、緑化に努めます。
平成26年度	0	
平成27年度	0	
合計	21,311	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
生産苗数	—	—	16,000苗	—	—
配布団体数	—	—	23団体	—	—

～都市基盤整備の充実～

基本施策7 公共交通機関が利用しやすいまちにします

【会計】一般会計

施策1 地域にあった交通手段の確保に努めます

2款：総務費1項：総務管理費11目：交通安全対策費

事業名	9335	交通不便地域対策事業		
担当所属	道路維持課	事業期間	平成22年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地域及び志津北部地域の公共交通不便地域において、公共交通の在り方を検証するため、最も公共交通不便地域が多い南部地域において、デマンド交通の実証運行を実施します。</li> <li>・南部地域内（神門バス停、白銀ニュータウンバス停、JR南酒々井駅、JR榎戸駅含む）は1乗車300円、南部地域からJR佐倉駅、京成佐倉駅までは1乗車700円</li> </ul>
事業の目的	最も公共交通不便地域が多い南部地域において、デマンド交通の実証運行を実施することにより、公共交通不便地域における将来的な公共交通の在り方を検証します。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドア・ツー・ドアサービスにより、高齢者に適した生活交通手段を提供します。</li> <li>・需要の発生に応じた柔軟な運行を行うことにより、広い地区内に散在する住民の移動手段を確保し公共交通不便地域を効率的に解消します。</li> </ul>

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	68,000	デマンド交通の南部地区での運行。志津北部地区での検討。
平成24年度	76,000	デマンド交通の南部地区での運行。志津北部地区での検討。
平成25年度	17,035	デマンド交通の南部地区での運行。志津北部地区での検討。 佐倉市南部地域（和田・弥富地区）において、交通不便地域解消のためデマンド交通を1台運行する。
平成26年度	14,567	デマンド交通の南部地区での運行。志津北部地区での導入及び市内交通不便地域の再検討
平成27年度	14,567	デマンド交通の南部地区での運行。志津北部地区での導入及び市内交通不便地域の再検討
合計	190,169	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
運行区域数	2地区	2地区	2地区	2地区	2地区
交通不便地域の移動手段の確保	2地区	2地区	2地区	2地区	2地区
デマンド交通の利用登録者数	505人	605人	705人	805人	905人
デマンド交通の利用件数	1,200件	1,800件	1,920件	2,040件	2,160件
デマンド交通の利用者数	1,320人	1,980人	2,112人	2,244人	2,376人

～都市基盤整備の充実～

基本施策7 公共交通機関が利用しやすいまちにします

【会計】一般会計

施策1 地域にあった交通手段の確保に努めます

2款：総務費1項：総務管理費11目：交通安全対策費

事業名	9336	循環バス運行事業		
担当所属	道路維持課	事業期間	平成15年度～平成27年度	

## 【実施計画の概要】

事業の内容	民間路線バスの廃止を受け、平成8年から企画が開始されました。 平成14年12月2日からの内郷地区における試験運行を経て、運行ルート・ダイヤ・料金等を改正の上、平成15年度から本運行を開始しています。 循環バスは、内郷地区では1日13便、飯野地区では1日6便、土日祝日を含め、毎日運行しています。
事業の目的	民間路線バスの廃止により、交通不便地域となった内郷地区に対して、誰もが安心して快適に住み続けられるまちづくりの交通機関を確保するため、平成15年度から内郷地区では1日13便、飯野地区では1日6便、土日祝日を含め、毎日運行しています。
事業の効果	誰もが安心して快適に住み続けられるまちづくりを行っていくうえで重要な交通手段である循環バスを、内郷地区では1日13便、飯野地区では1日6便、土日祝日を含め、毎日運行することで、年間47,000人程度の交通手段が確保されています。

## 【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	15,794	内郷地区の交通手段を確保するために、循環バスの運行を実施します。
平成24年度	15,794	内郷地区の交通手段を確保するために、循環バスの運行を実施します。
平成25年度	18,539	内郷地区の交通手段を確保するために、循環バスの運行を実施します。
平成26年度	15,909	内郷地区の交通手段を確保するために、循環バスの運行を実施します。
平成27年度	15,909	内郷地区の交通手段を確保するために、循環バスの運行を実施します。
合計	81,945	

## 【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
循環バス便数(内郷地区)	13便	13便	13便	13便	13便
循環バス便数(飯野地区)	6便	6便	6便	6便	6便
循環バス利用者数	47,000人	47,000人	47,000人	47,000人	47,000人

～都市基盤整備の充実～

基本施策7 公共交通機関が利用しやすいまちにします

【会計】一般会計

施策2 公共交通機関への要望及び支援に努めます

2款：総務費1項：総務管理費11目：交通安全対策費

事業名	572	公共交通移動円滑化施設整備事業		
担当所属		道路維持課	事業期間	平成23年度～平成23年度

【実施計画の概要】

事業の内容	移動等円滑化の促進に関する基本方針により、路線バス事業者が導入するノンステップバスに対して、国、佐倉市、路線関係市長村が協調して、その導入費用の一部に対して助成を行います。
事業の目的	本格的高齢社会において、バリアフリー化された生活環境は国民生活に不可欠の重要な共通社会基盤でありますので、路線バス事業者のノンステップバス導入を補助することにより高齢者、障害者等の移動等の円滑化を促進する。
事業の効果	本格的高齢社会の到来や自立と共生の理念の浸透など、高齢者、障害者等を取り巻く社会情勢の変化等に対応し、公共交通機関のバリアフリー化を促進できる。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	0	補助制度の改正により、国、県の補助メニューに移行したため、佐倉市からの補助はなくなりました。
平成24年度		
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度		
合計		

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
ノンステップバス導入台数	1台				

～都市基盤整備の充実～

基本施策7 公共交通機関が利用しやすいまちにします

【会計】一般会計

施策2 公共交通機関への要望及び支援に努めます

2款：総務費1項：総務管理費11目：交通安全対策費

事業名	9338	公共交通生活路線維持事業		
担当所属	道路維持課	事業期間	平成13年度～平成27年度	

## 【実施計画の概要】

事業の内容	平成13年度に路線バスの運行会社より弥富地区からの撤退の申し出があったが、千葉県バス対策地域協議会印旛分科会で路線の存続は必要不可欠と判断されたため、平成16年度から市の補助により運行を継続しています。同様に和田地区についても、平成20年4月1日より補助を行って運行を継続しています。
事業の目的	バス交通はきめ細かい圏域サービスが可能であり、乗降が容易であることから、コンパクトで持続可能な都市構造を形成し、誰もが安心して快適に住み続けられるまちづくりを行っていくうえでも重要な機能です。廃止が危惧される既存バス路線を維持することにより、和田・弥富地区の交通手段を確保します。
事業の効果	廃止を危惧された、和田・弥富地区4路線が、補助により維持されたため、和田・弥富地区の交通手段が確保されました。

## 【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	6,200	廃止が危惧される路線バスの維持のため、バス事業者に対して運行継続要望と助成を行います。
平成24年度	6,200	廃止が危惧される路線バスの維持のため、バス事業者に対して運行継続要望と助成を行います。
平成25年度	6,200	廃止が危惧される路線バスの維持のため、バス事業者に対して運行継続要望と助成を行います。
平成26年度	6,200	廃止が危惧される路線バスの維持のため、バス事業者に対して運行継続要望と助成を行います。
平成27年度	6,200	廃止が危惧される路線バスの維持のため、バス事業者に対して運行継続要望と助成を行います。
合計	31,000	

## 【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
補助路線数	4路線	4路線	4路線	4路線	4路線
既存バス路線の維持	4路線	4路線	4路線	4路線	4路線

～都市基盤整備の充実～

基本施策7 公共交通機関が利用しやすいまちにします

【会計】一般会計

施策2 公共交通機関への要望及び支援に努めます

2款：総務費1項：総務管理費11目：交通安全対策費

事業名	9339	市営自転車駐車場管理事業		
担当所属	道路維持課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

## 【実施計画の概要】

事業の内容	市内6駅（JR佐倉、京成志津、京成ユーカリが丘、京成臼井、京成佐倉、京成大佐倉）13箇所ある自転車駐車場の維持管理を行います。
事業の目的	市内駅周辺の自転車の駐車秩序を確立し、道路交通の円滑及び自転車利用者の利便を図ります。
事業の効果	市営自転車駐車場を良好に施設管理することにより、利用者の安全性を確保します。また、利用率の向上を図り、駅周辺における放置自転車を防止することにより、市民の安全確保と良好な都市環境の保全を図ります。

## 【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	3,028	自転車駐車場の維持管理を行います。
平成24年度	4,774	自転車駐車場の維持管理を行います。
平成25年度	4,700	自転車駐車場の維持管理を行います。
平成26年度	4,704	自転車駐車場の維持管理を行います。
平成27年度	4,704	自転車駐車場の維持管理を行います。
合計	21,910	

## 【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
自転車駐車場管理箇所数	13箇所	13箇所	13箇所	13箇所	13箇所
自転車駐車場収容台数	9,263台	9,263台	9,263台	9,263台	9,263台
原動機付自転車駐車場収容台数	1,488台	1,488台	1,488台	1,488台	1,488台
自転車駐車場契約台数	5,120台	5,146台	5,171台	5,222台	5,273台
原動機付自転車駐車場契約台数	843台	847台	851台	859台	868台



～都市基盤整備の充実～

基本施策7 公共交通機関が利用しやすいまちにします

【会計】一般会計

施策2 公共交通機関への要望及び支援に努めます

2款：総務費1項：総務管理費11目：交通安全対策費

事業名	9340	放置自転車等処理事業		
担当所属	道路維持課	事業期間	平成05年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	「佐倉市自転車等の放置防止に関する条例」に基づき、駅周辺の自転車放置禁止区域について、年間35回の放置自転車の撤去を行います。また、歩道や道路の交通環境を確保するため、放置自転車の撤去を行います。
事業の目的	放置自転車は街の美観を損ね、歩行者の通行の妨げになるなど、道路や駅前広場の機能を著しく低下させます。また、緊急時の防災・救急活動の妨げとなるなど、市民生活の安全性を阻害するため、市内駅周辺等における放置自転車の撤去、移送、管理等を行い、良好な交通環境の確保に努めます。
事業の効果	公共の場所における自転車等の放置を抑制することにより、災害時における防災活動の円滑化と公共空間としての機能を確保できます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	8,949	放置自転車の撤去及び保管を行います。
平成24年度	8,873	放置自転車の撤去及び保管を行います。
平成25年度	8,789	放置自転車の撤去及び保管を行います。
平成26年度	8,803	放置自転車の撤去及び保管を行います。
平成27年度	8,803	放置自転車の撤去及び保管を行います。
合計	44,217	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
駅前放置自転車撤去回数	35回	35回	35回	35回	35回
放置自転車撤去台数	100台	100台	100台	100台	100台

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」～都市

基盤整備の充実～

基本施策7 公共交通機関が利用しやすいまちにします

【会計】一般会計

施策2 公共交通機関への要望及び支援に努めます

事業名	9341	総合交通事業		
担当所属	企画政策課	事業期間	平成23年度～平成27年度	

【実施計画の概要】

事業の内容	公共交通に関する政策について検討するとともに、推進へ向け関係部署及び関係機関との調整を図ります。また、JR及び京成電鉄への要望の取りまとめ及び調整を近隣市町村と連携して行います。
事業の目的	JR東日本旅客鉄道(株) ・千葉県JR線複線化等促進期成同盟を通じて、ダイヤ改正などの要望活動を実施し、市民が鉄道を利用しやすくします。 京成電鉄(株) ・ダイヤ改正などの要望を行い、市民が鉄道を利用しやすくします。
事業の効果	市民が鉄道を利用しやすくなります。また、鉄道利用が増えることにより、市内の渋滞解消の一助を担います。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度	0	・東日本旅客鉄道(株)に対して、要望活動を行います。 ・京成電鉄(株)に対して、要望活動を行います。
平成24年度	0	・東日本旅客鉄道(株)に対して、要望活動を行います。 ・京成電鉄(株)に対して、要望活動を行います。
平成25年度	0	・東日本旅客鉄道(株)に対して、要望活動を行います。 ・京成電鉄(株)に対して、要望活動を行います。
平成26年度	0	・東日本旅客鉄道(株)に対して、要望活動を行います。 ・京成電鉄(株)に対して、要望活動を行います。
平成27年度	0	・東日本旅客鉄道(株)に対して、要望活動を行います。 ・京成電鉄(株)に対して、要望活動を行います。
合計	0	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
千葉県JR線複線化等促進期成同盟会議及び要望活動出席回数	4回	4回	4回	4回	4回
JR東日本旅客鉄道(株)への要望件数	3件	3件	3件	3件	3件
京成電鉄(株)への要望件数	3件	3件	3件	3件	3件
改善実施及び要望件数(累計)	3件	3件	3件	3件	3件
公共交通機関の便が良いと思う市民の割合	21.3%	-	-	-	25%

～都市基盤整備の充実～

基本施策7 公共交通機関が利用しやすいまちにします

【会計】一般会計

施策2 公共交通機関への要望及び支援に努めます

2款：総務費1項：総務管理費11目：交通安全対策費

事業名	9719	市営自転車駐車場整備事業		
担当所属		道路維持課	事業期間	平成25年度～平成29年度

【実施計画の概要】

事業の内容	市内にある屋内駐車場7箇所はすべて築25年以上が経過しており、旧耐震基準による設計の自転車駐車場が4箇所あります。また、経年劣化により安全性に問題が生じていることから、耐震診断を行い、耐震改修工事及び塗装等大規模改修工事を行います。
事業の目的	経年劣化により安全性に問題が生じている自転車駐車場の耐震診断を行い、耐震改修工事及び塗装等大規模改修工事を行うことにより、安全な自転車駐車場を市民に提供します。
事業の効果	経年劣化により安全性に問題が生じている自転車駐車場の耐震診断を行い、耐震改修工事及び塗装等大規模改修工事を行うことにより、安全な自転車駐車場を市民に提供します。また、今後の維持管理費の軽減を図ります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
平成23年度		
平成24年度		
平成25年度	19,311	京成志津駅南口自転車駐車場の耐震診断及び補強設計業務 寺崎自転車保管所改修事業
平成26年度	46,378	志津駅南口補強設計委託料 志津駅南口補強工事(2ヶ年継続)
平成27年度	61,345	志津駅南口補強工事(2ヶ年継続)
合計	127,034	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
耐震診断及び補強設計業務	—	—	1件	1件	1件
耐震改修及び塗装等大規模改修工事	—	—	—	1件	1件
安心安全な自転車駐車場	—	—	0%	14%	28%